

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和6年03月28日

トヨタ関連部品健康保険組合

STEP 1-1 基本情報

組合コード	57546
組合名称	トヨタ関連部品健康保険組合
形態	総合
業種	その他の製造業

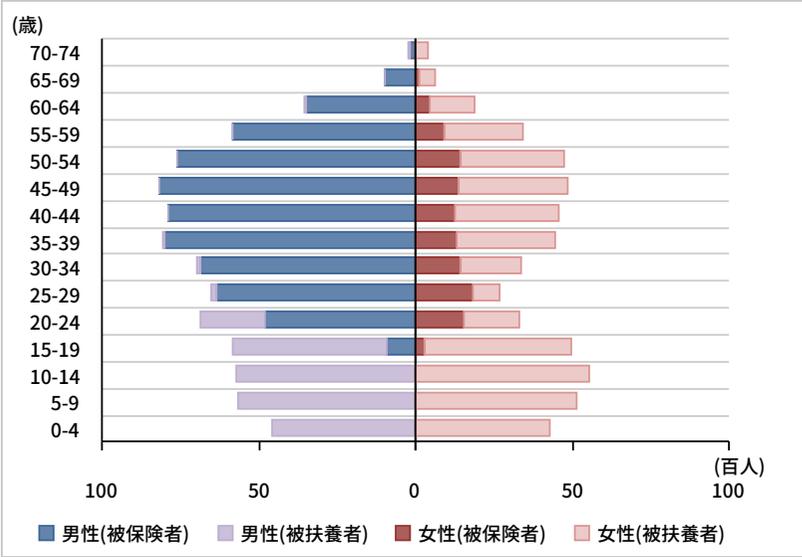
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	72,900名 男性83.7% (平均年齢41.8歳) * 女性16.3% (平均年齢38.7歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険者数	0名	-名	-名
加入者数	138,700名	-名	-名
適用事業所数	185カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点数	184カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	9.4‰	-‰	-‰

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	5	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-

		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数 ÷ 特定健康診査対象者数)	全体	45,416 / 52,696 = 86.2 %	
	被保険者	36,541 / 37,749 = 96.8 %	
	被扶養者	8,875 / 14,939 = 59.4 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数 ÷ 特定保健指導対象者数)	全体	5,454 / 8,519 = 64.0 %	
	被保険者	5,023 / 7,761 = 64.7 %	
	被扶養者	431 / 758 = 56.9 %	

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	223,039	3,060	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	39,184	538	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	38,103	523	-	-	-	-
	疾病予防費	577,334	7,920	-	-	-	-
	体育奨励費	20,826	286	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	16,827	231	-	-	-	-
	小計 …a	915,313	12,556	0	-	0	-
経常支出合計 …b	42,857,109	587,889	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	2.14		-	-	-	-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	937人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	4,826人	25～29	6,321人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	6,867人	35～39	7,985人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	7,875人	45～49	8,176人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	7,606人	55～59	5,803人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	3,478人	65～69	955人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	182人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	292人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	1,570人	25～29	1,814人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	1,409人	35～39	1,322人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1,241人	45～49	1,359人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1,423人	55～59	894人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	437人	65～69	107人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	22人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	4,570人	5～9	5,635人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	5,689人	15～19	4,890人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	2,033人	25～29	187人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	91人	35～39	34人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	19人	45～49	7人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	18人	55～59	20人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	57人	65～69	28人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	56人			70～74	-人			70～74	-人		

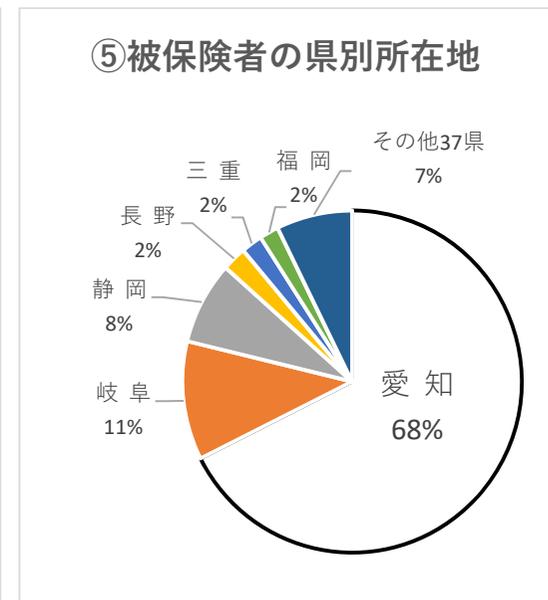
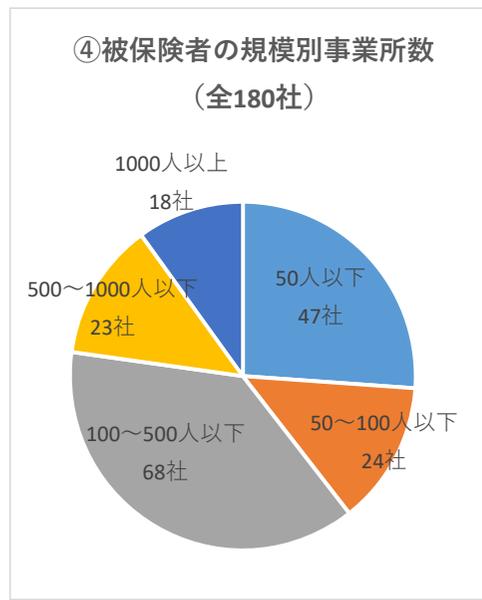
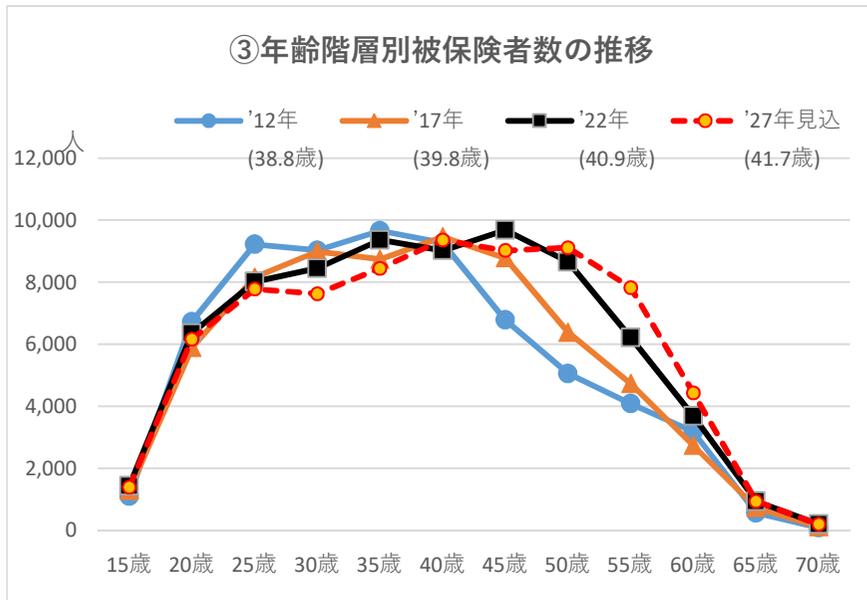
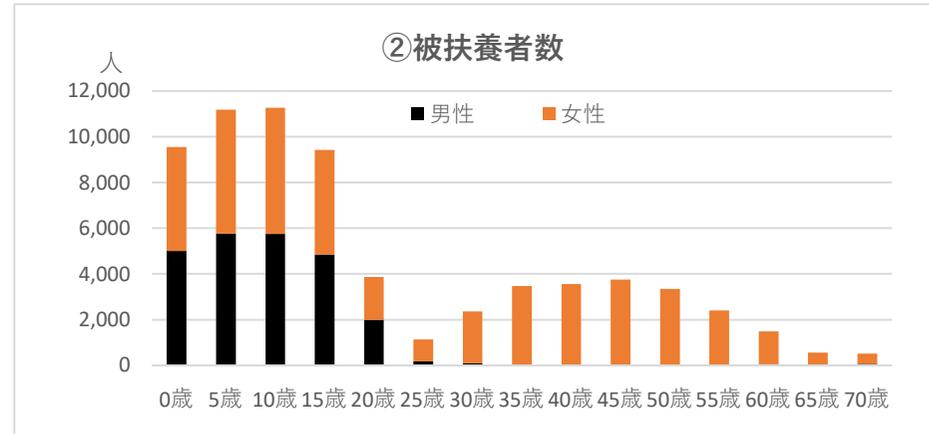
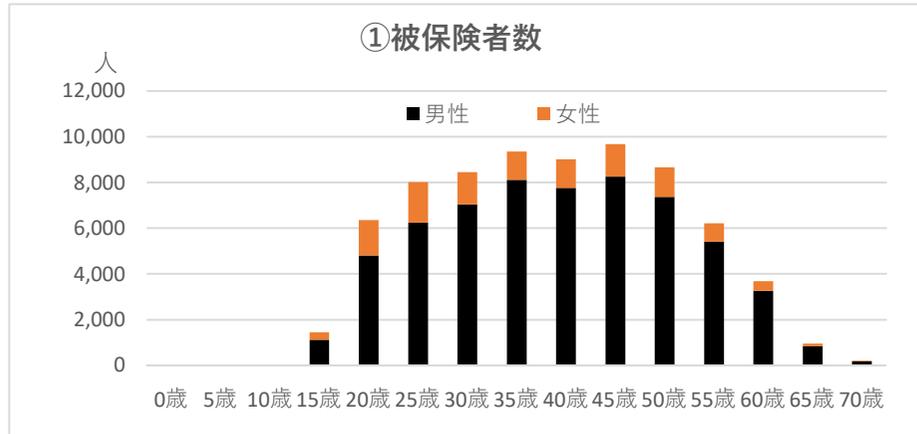
女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	4,296人	5～9	5,141人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	5,526人	15～19	4,694人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	1,797人	25～29	856人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	1,967人	35～39	3,123人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	3,341人	45～49	3,485人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	3,325人	55～59	2,509人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	1,452人	65～69	527人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	425人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

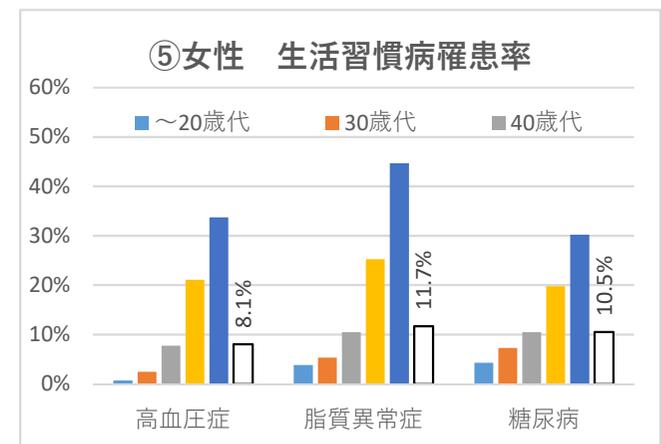
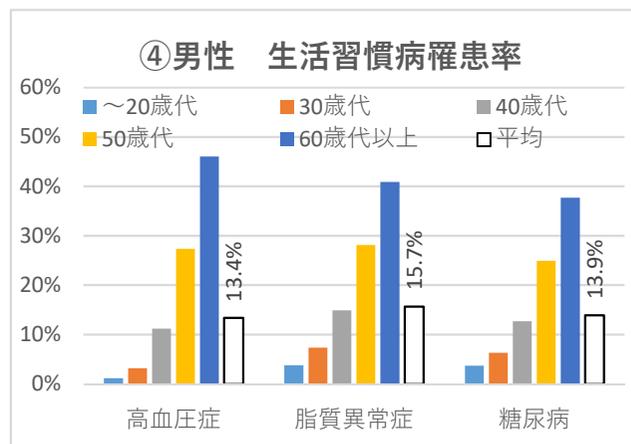
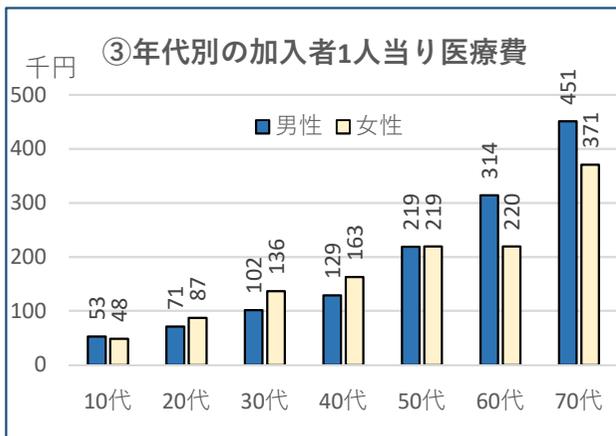
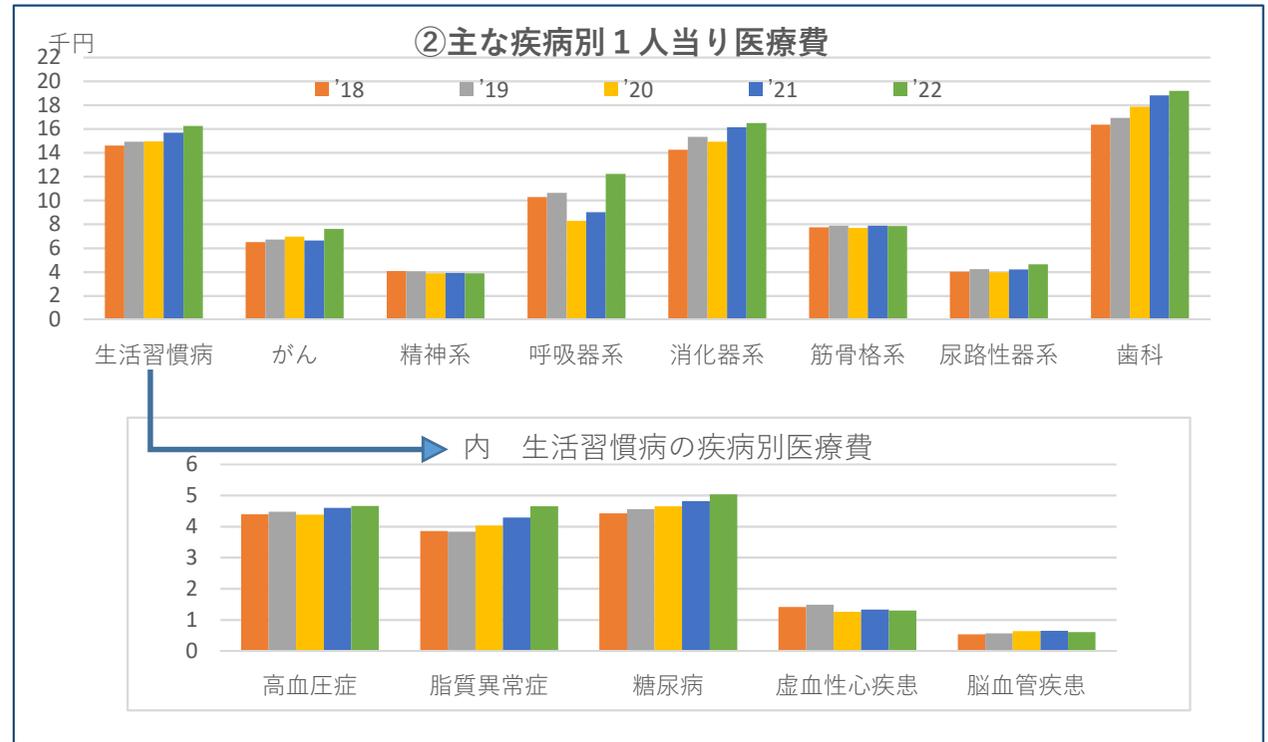
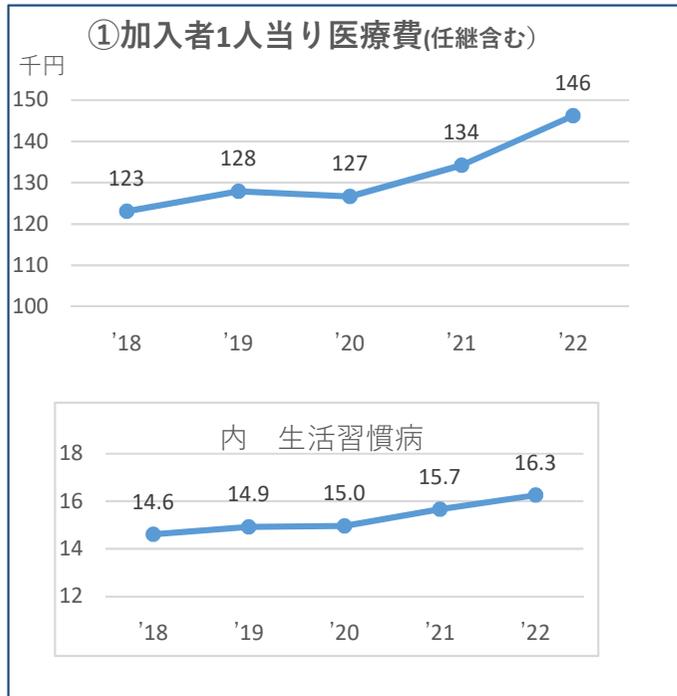
1. 加入事業所数が多く、事業所によって規模や体制、健康づくりへの会社のスタンスが異なる。
2. 製造業中心で、交代勤務があり勤務形態が多様。また男性比率が高い。
3. 40歳台を中心に人員構成の山があり、今後はさらに高齢化が進むと予想される。

1. 【基本】



1. 製造業中心で男性比率が高く、交代勤務などの勤務形態が多様。
2. 被保険者は50歳代以降の伸びが高く、今後も高齢化が進行。
3. 従業員規模が幅広く、体制や健康づくりへの会社のスタンスが異なる。
4. 組合員の居住地は愛知県が主であるが、全国に広がっている。

2. 【被保険者の医療費】



3. 【被保険者の健診結果】

《検査の判定区分》

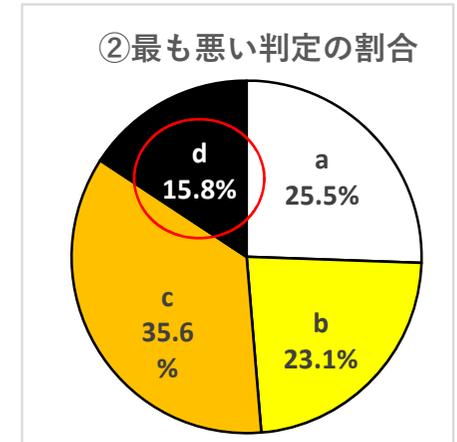
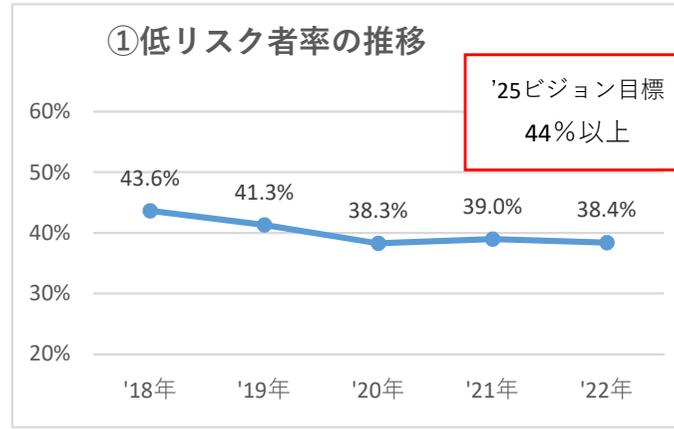
項目	検査内容	a (正常)	b (やや注意)	c (要注意)	d (危険)
①肥満	BMI	~24.9		25~29.9	30~
	最高血圧	~129	130~139	140~159	160~
②血圧	最低血圧	~84	85~89	90~99	100~
	中性脂肪	~149	150~299	300~499	500~
③脂質異常	HDLコレステロール	40~		35~39	~34
	LDLコレステロール	~119	120~139	140~179	180~
④糖代謝	空腹時血糖	~99	100~109	110~125	126~
	HbA1c	~5.5	5.6~5.9	6.0~6.4	6.5~

《定義》

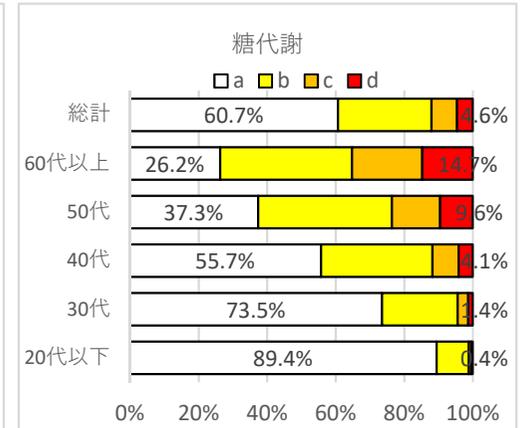
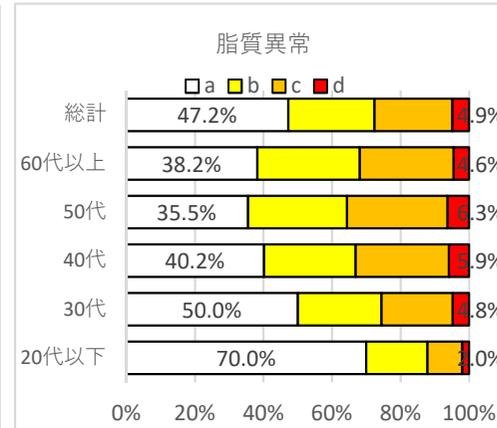
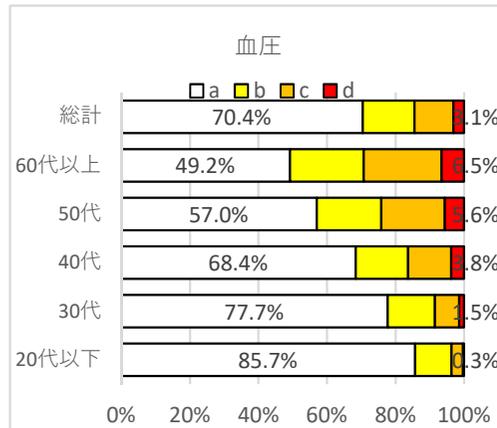
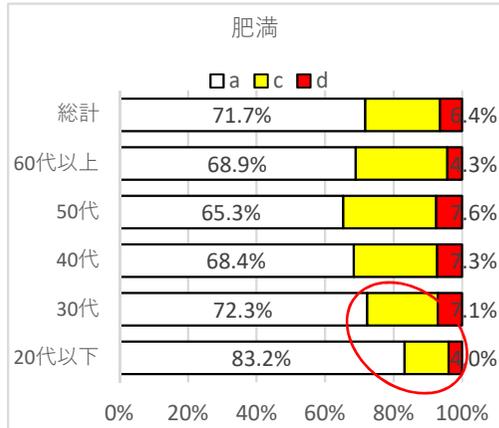
(1) 低リスク者
 39歳以下：
 すべての項目がa判定

40歳以上：
 すべての項目がaかb判定

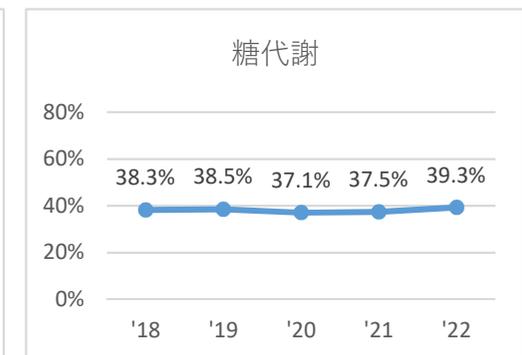
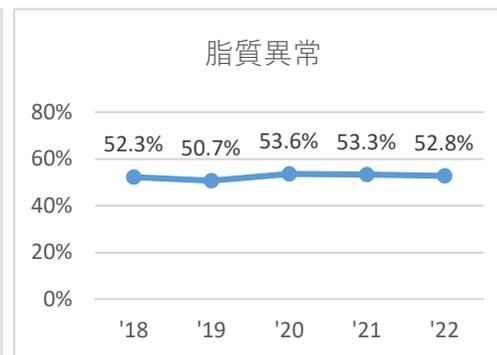
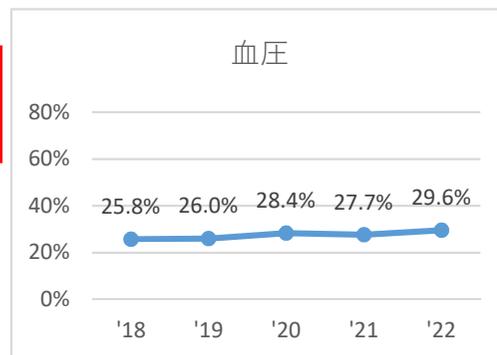
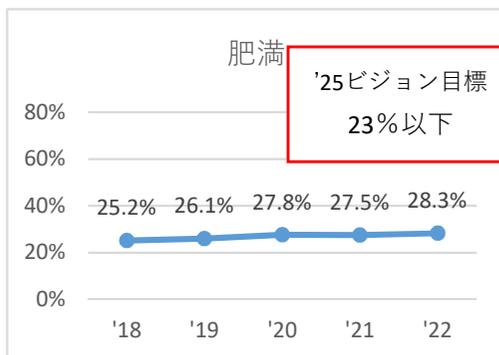
(2) 有所見
 全年齢：各項目でb c d判定



③判定区分の年代別割合

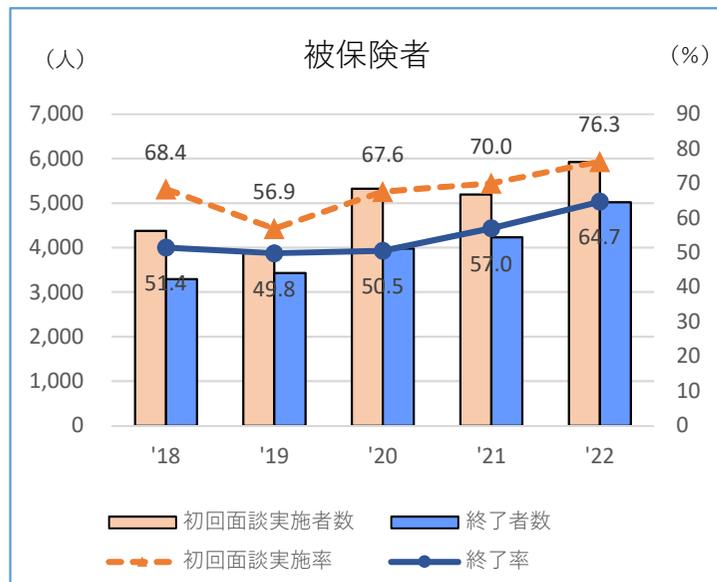


④有所見率の推移

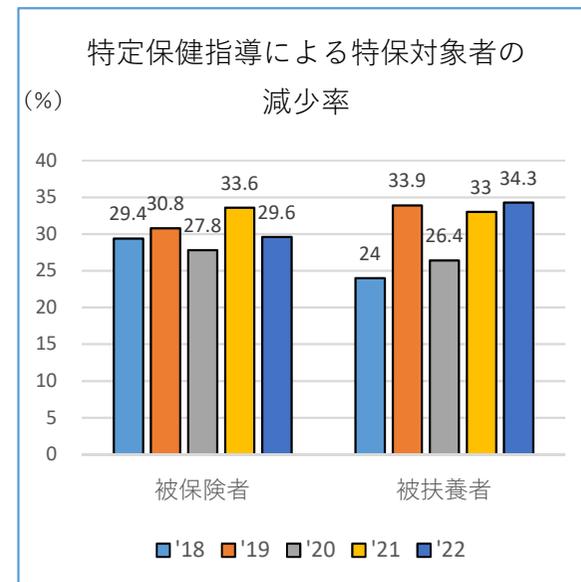


4. 【特定保健指導】

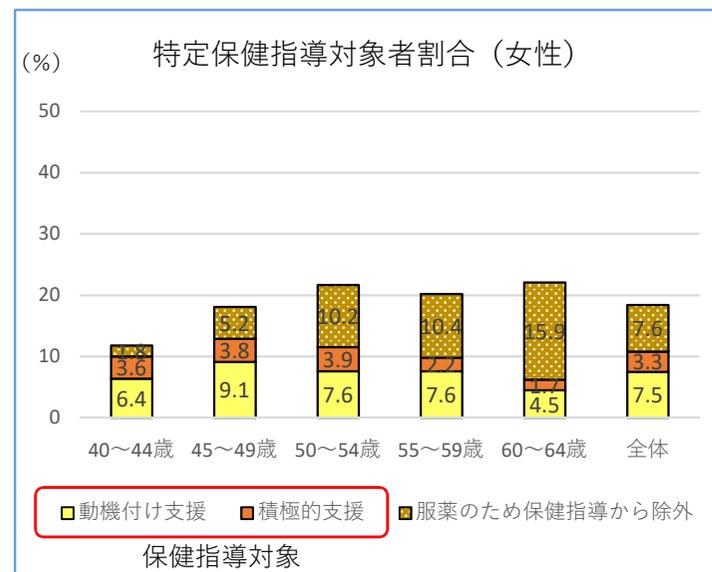
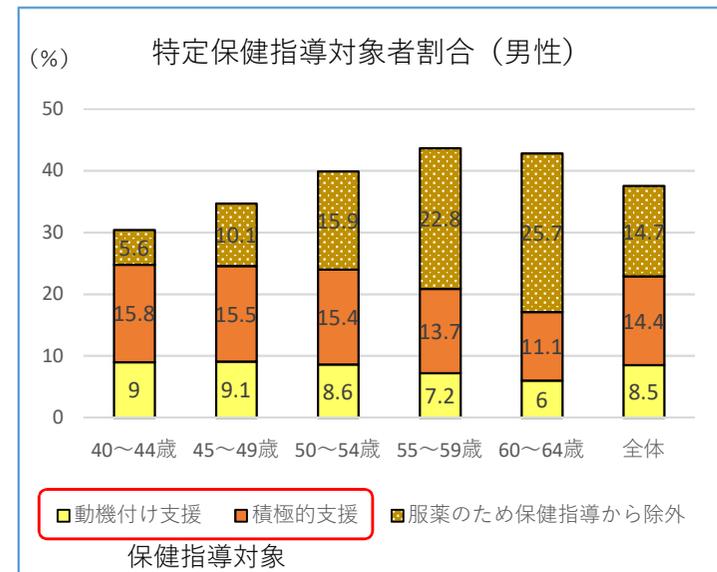
① 特定保健指導実施率の推移



② 特定保健指導の効果

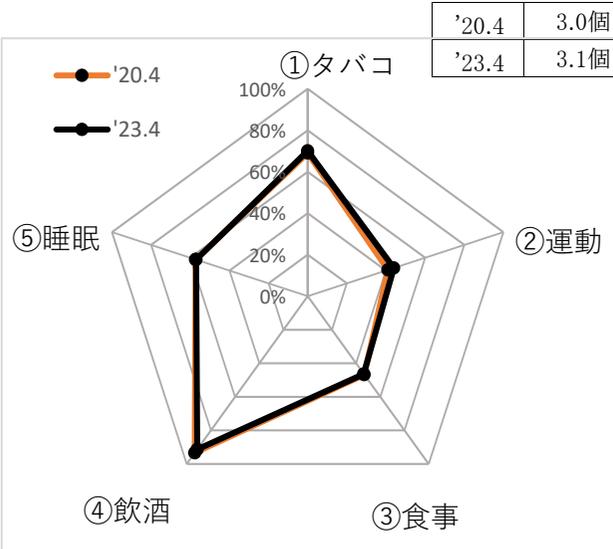


③ 2022年度 被保険者 性・年代別の保健指導対象者の割合



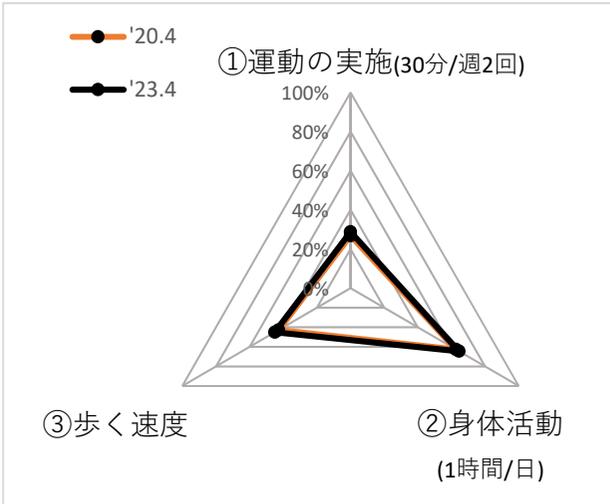
- ・本人、家族共に、保健指導実施率は年々アップ。
- ・保健指導実施により、3割前後が翌年は保健指導対象外に。
- ・加齢と共に治療中該当者が増加し、保健指導対象者割合は減少。生活習慣病への移行を防ぐ、または遅らせるため、対象者への継続的な保健指導実施と共に、40歳前からの保健指導も重要。

良い生活習慣の率



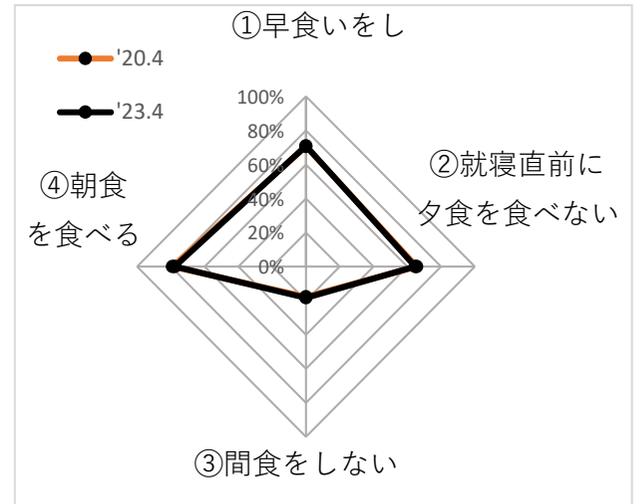
	'20.4		'23.4	
①	69.1%	↑	70.0%	非喫煙者
②	41.0%	↑	44.0%	右記②の設問に2つ以上該当
③	46.8%	↓	46.4%	右記③の設問に3つ以上該当
④	93.4%	↓	91.3%	非多量飲酒群
⑤	57.2%	↓	57.0%	睡眠で休養が充分とれている

②. 運動習慣



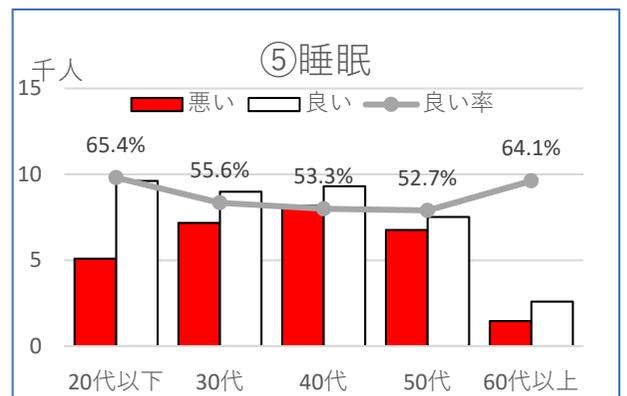
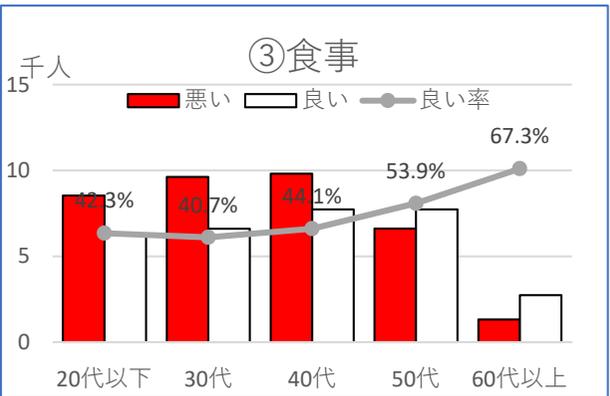
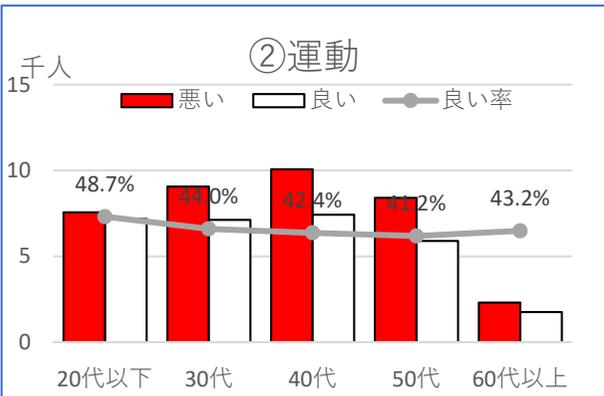
	'20.4		'23.4	
①	26.8%	↑	28.7%	1回30分以上の運動を週2回以上
②	62.7%	↑	64.5%	歩行または同等の身体活動を1日1時間
③	42.7%	↑	45.0%	同年齢の同性と比較して歩くのが速い

③. 食事習慣

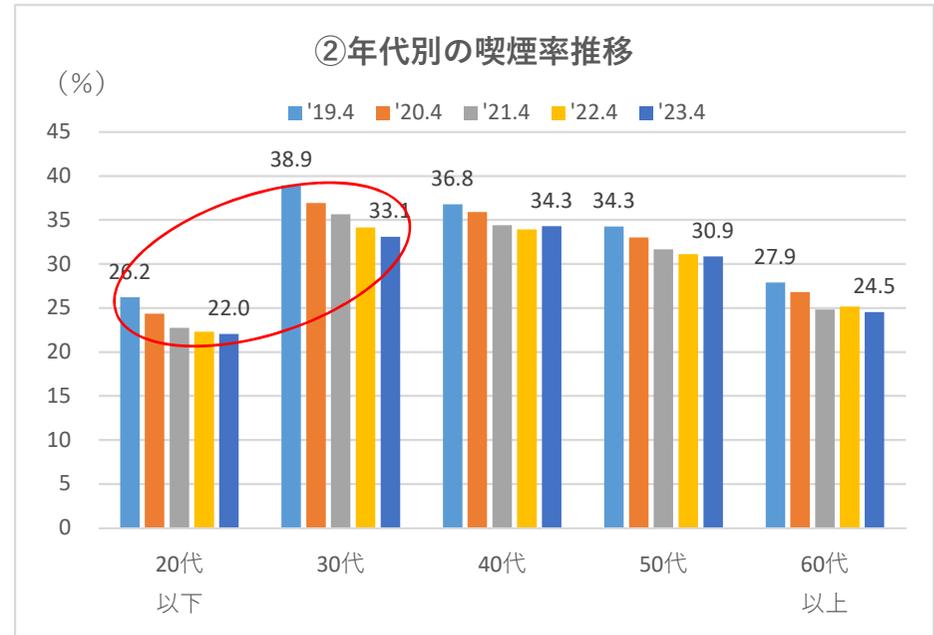
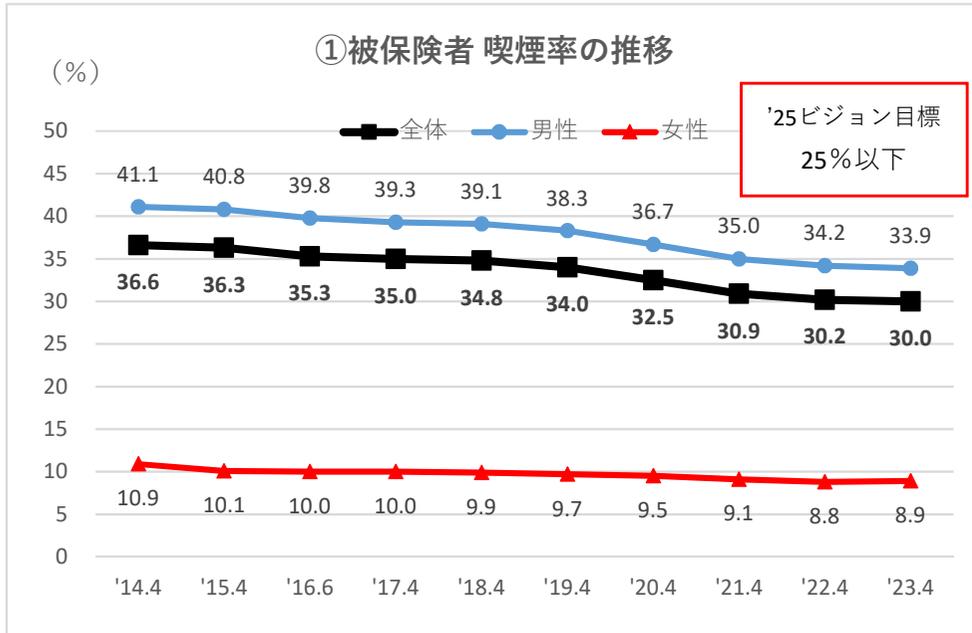


	'20.4		'23.4	
①	70.6%	↑	71.0%	早食いをしない
②	65.6%	↓	64.7%	就寝前2時間以内の夕食が週3回未満
③	17.7%	↑	18.3%	3食以外の間食をほとんど摂取しない
④	79.1%	↓	77.7%	朝食を抜く頻度が週3回未満

年代別の良い生活習慣

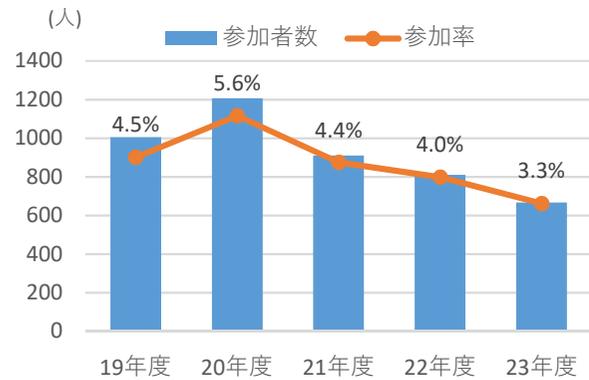


6. 【煙草】

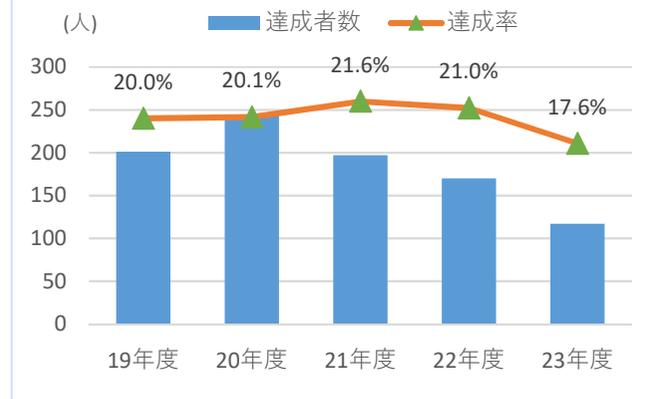


③脱タバコ作戦 参加と達成状況

参加状況



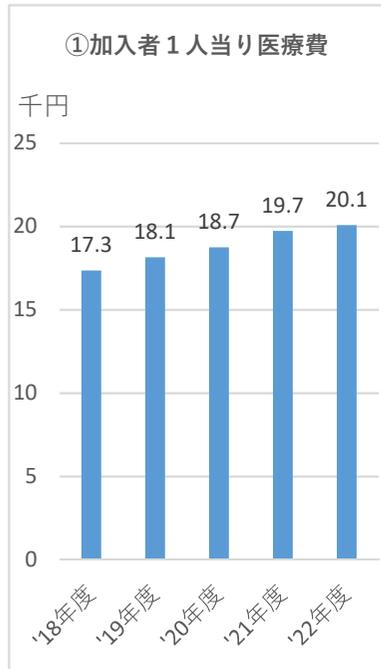
達成状況



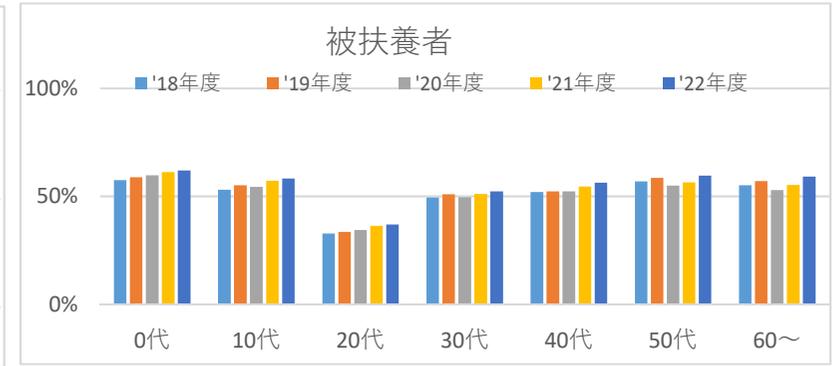
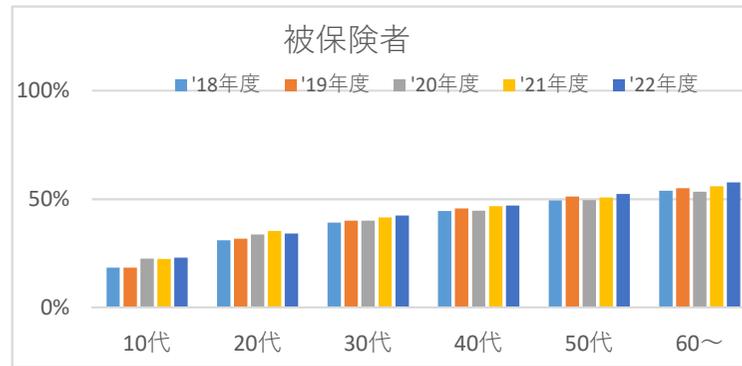
④敷地内禁煙

実施事業所 38社 (23%)
 予定事業所 28社
 /166社

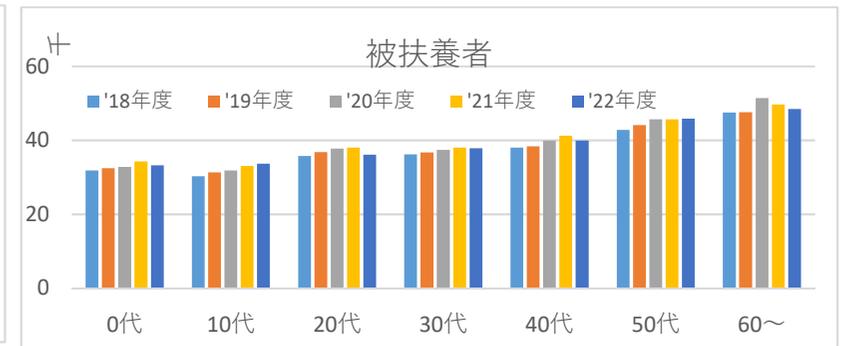
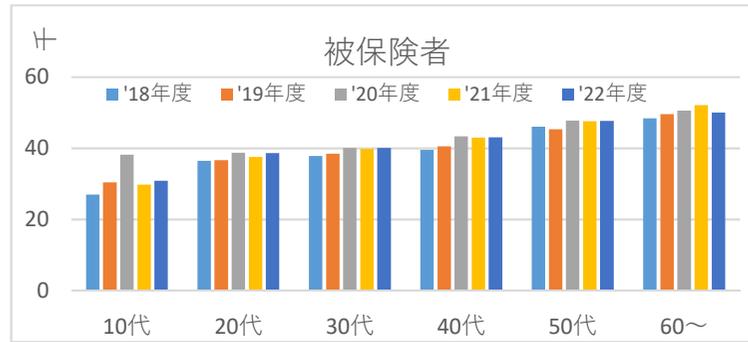
7. 【歯】



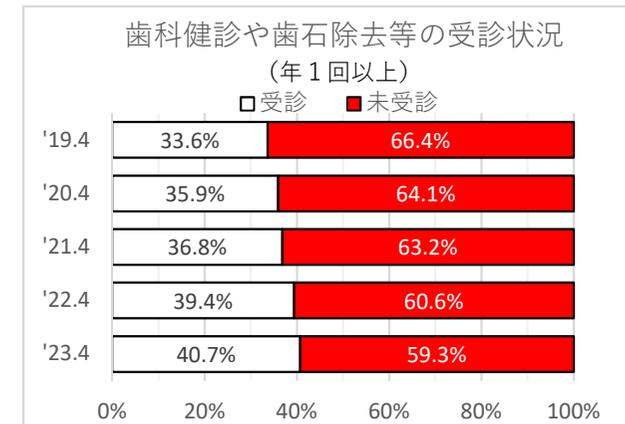
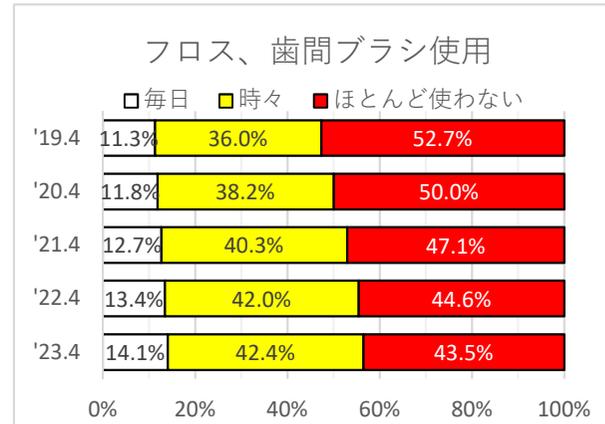
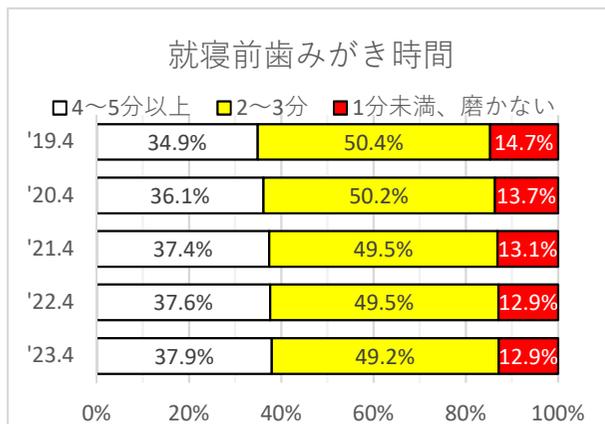
②受療率



③患者1人当り医療費

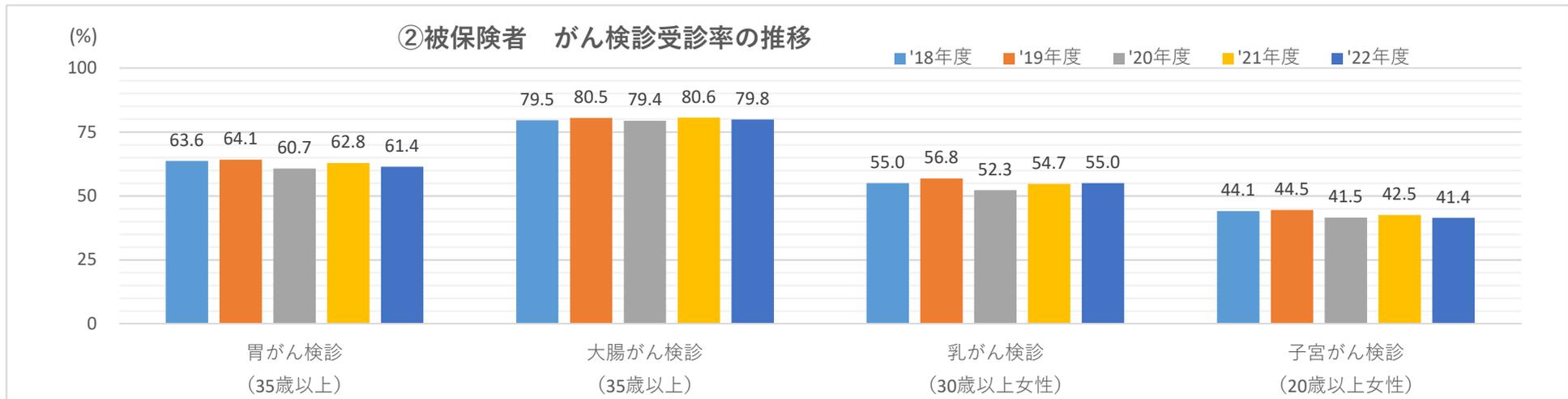
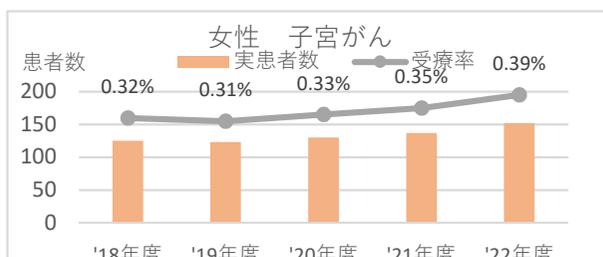
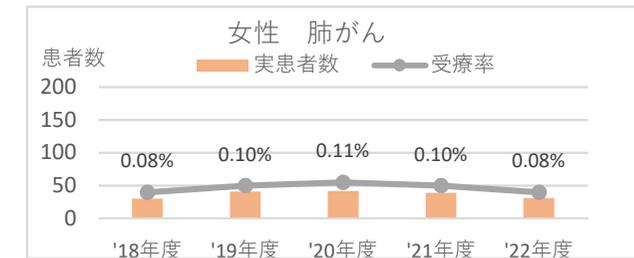
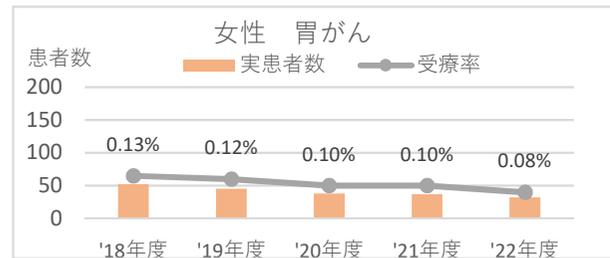
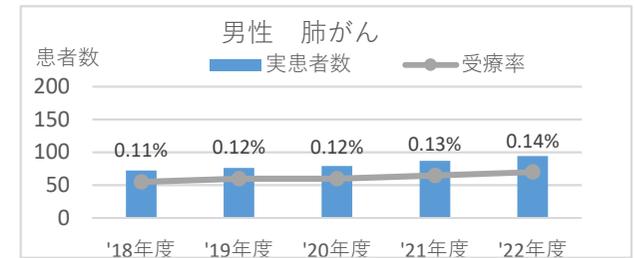
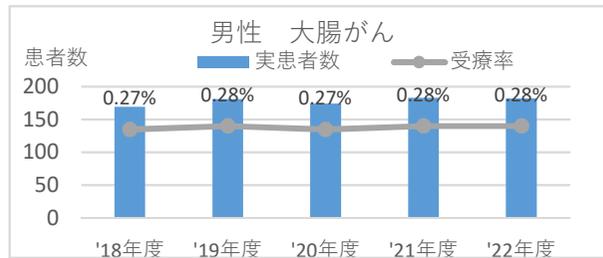
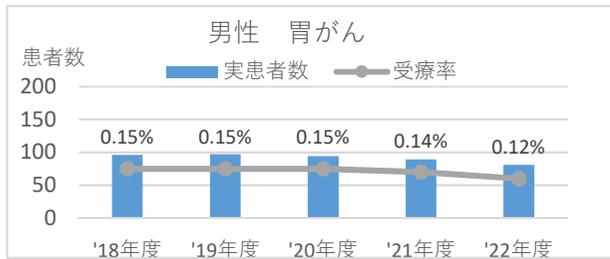


④被保険者のケア状況（健康調査より）

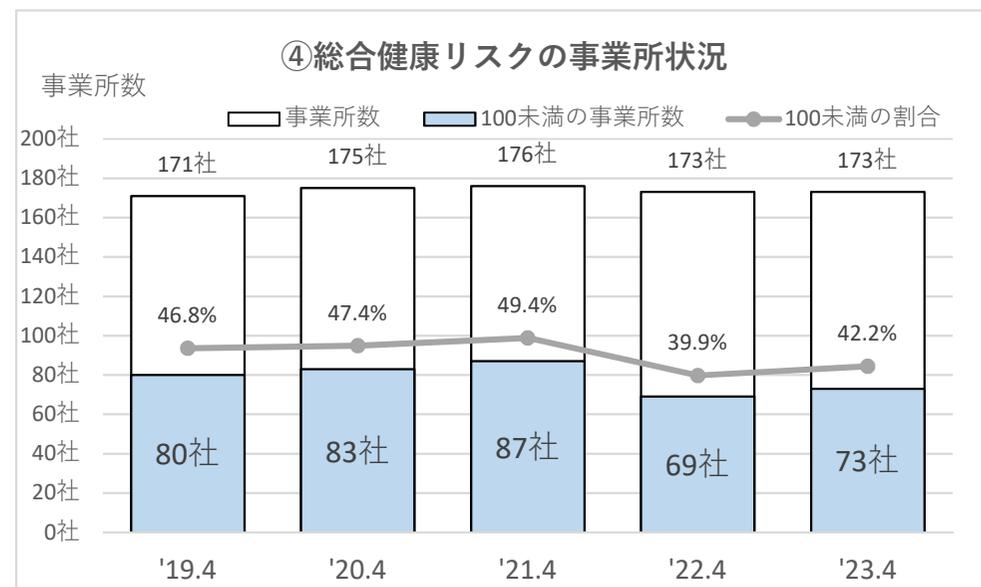
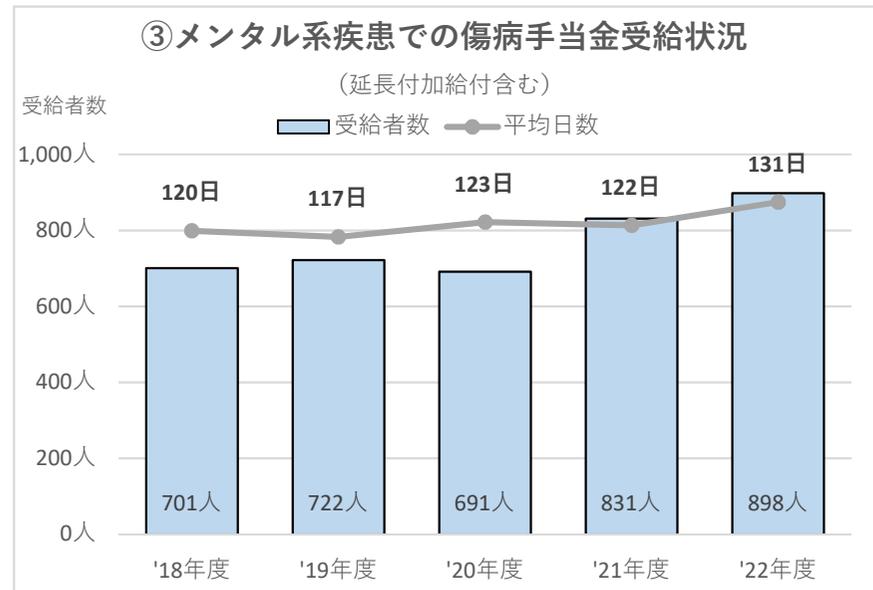
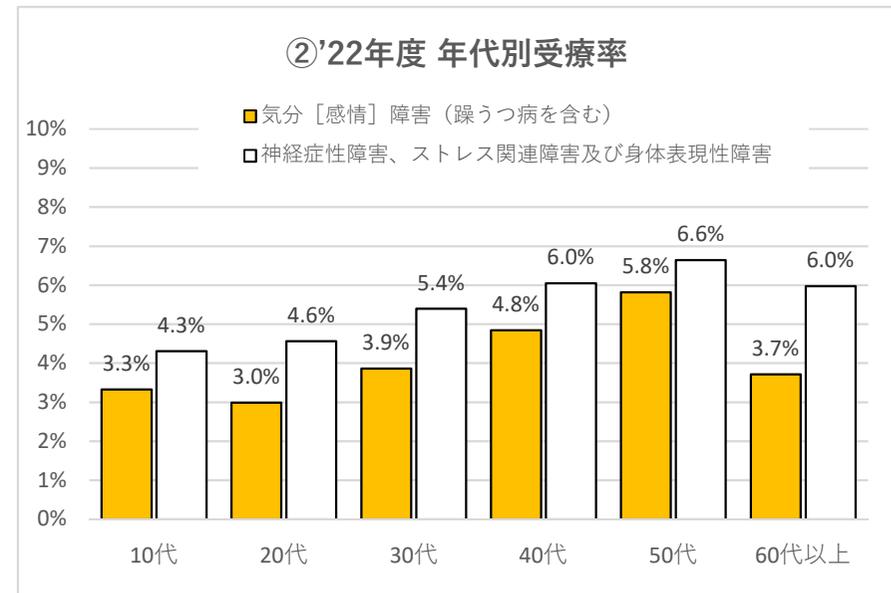
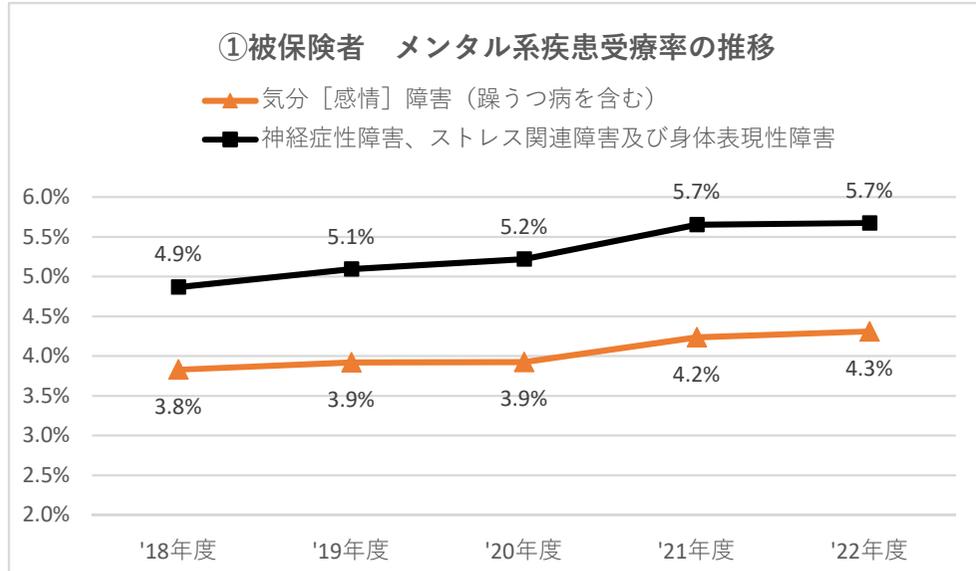


8. 【がん】

①がん患者の推移（20歳以上の組合員・疑い除く）

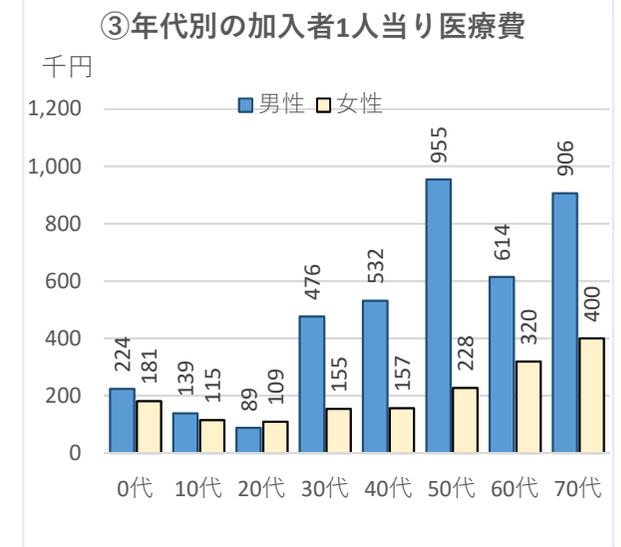
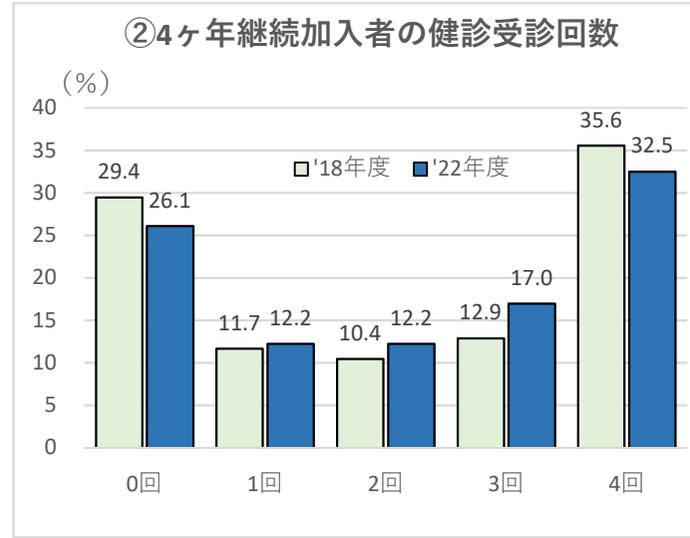
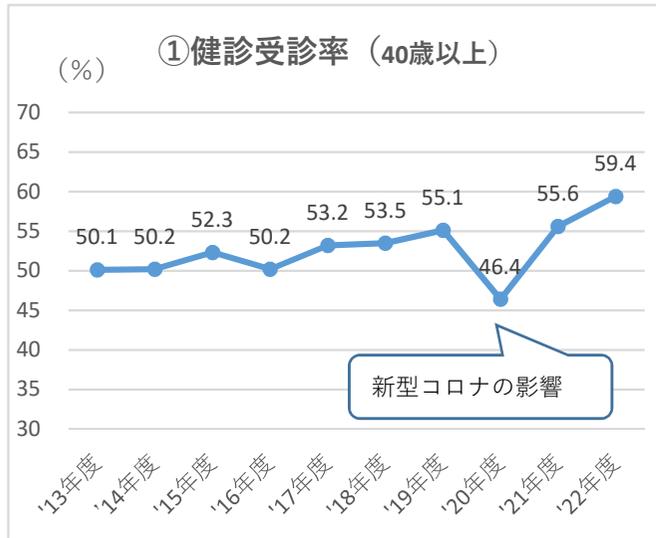


9. 【メンタル】

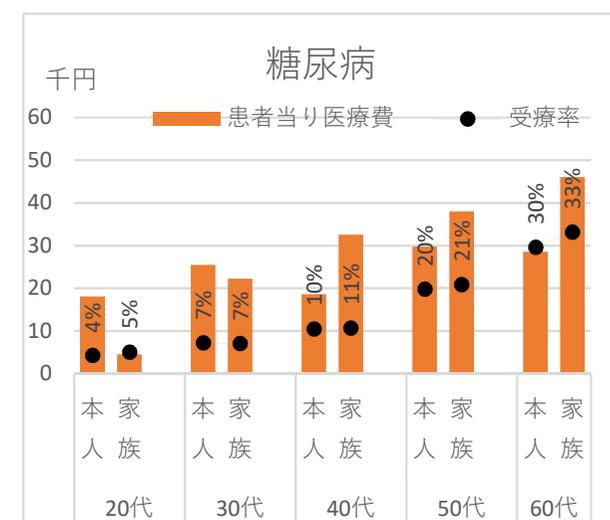
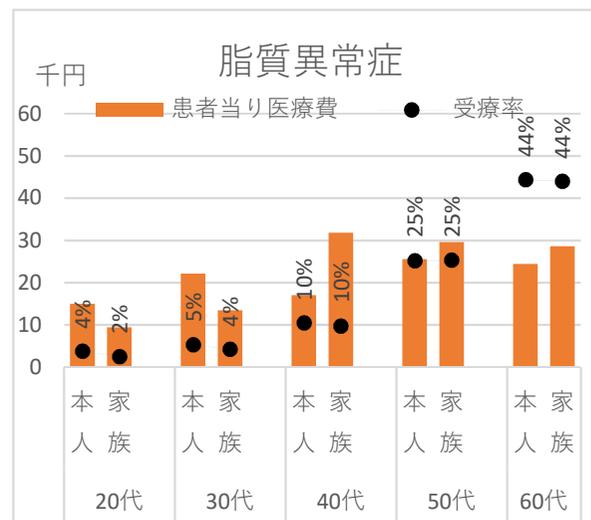
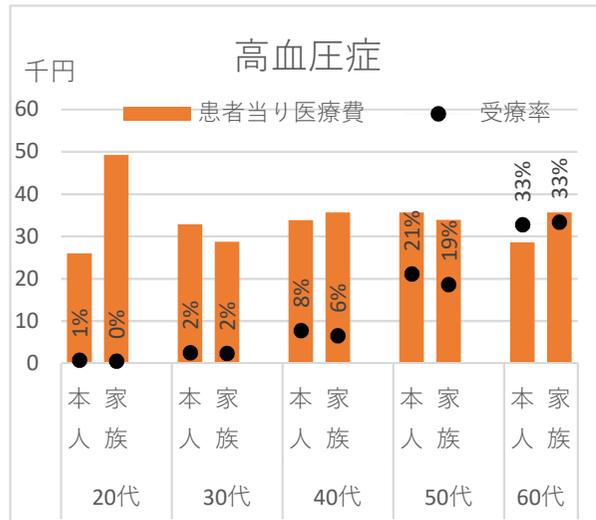


※再発は再カウント、年度単位で再カウント

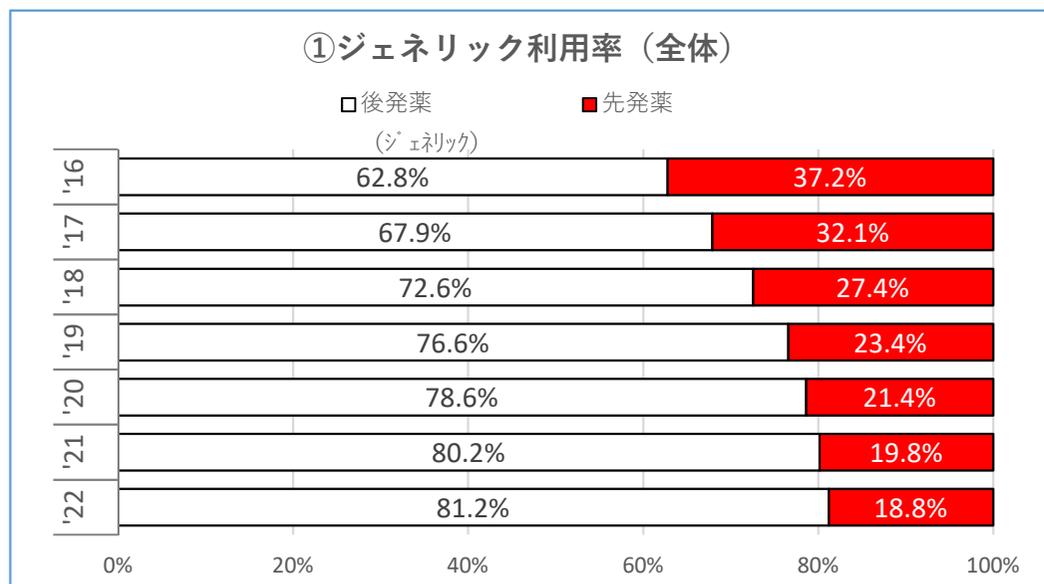
10. 【被扶養者】



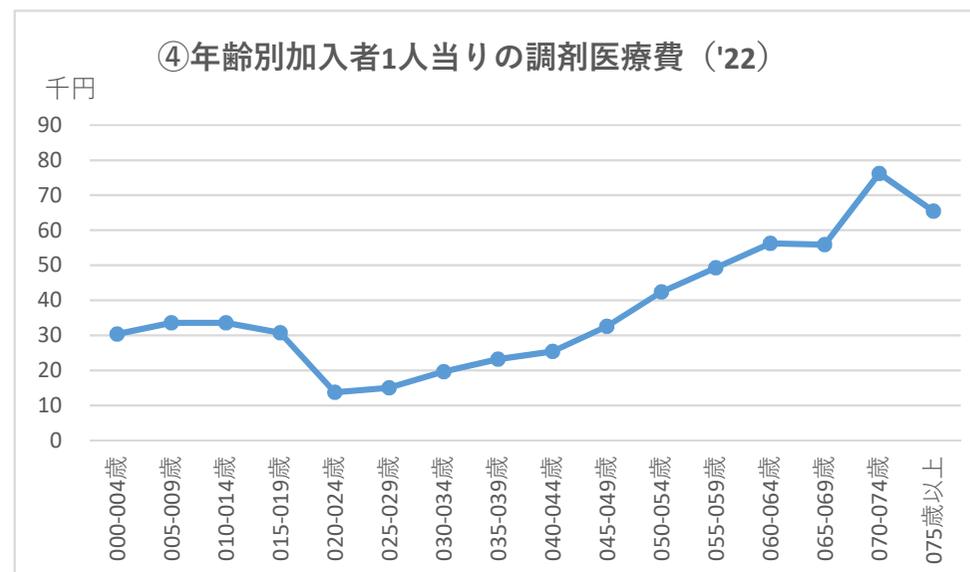
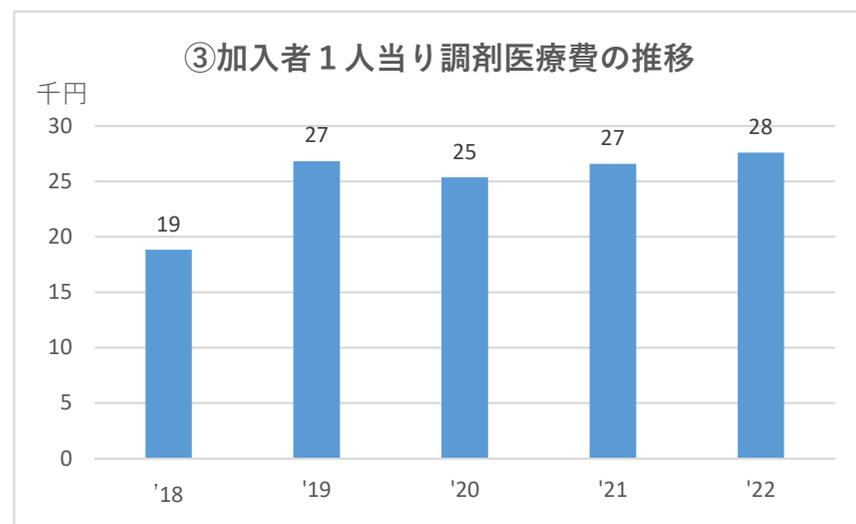
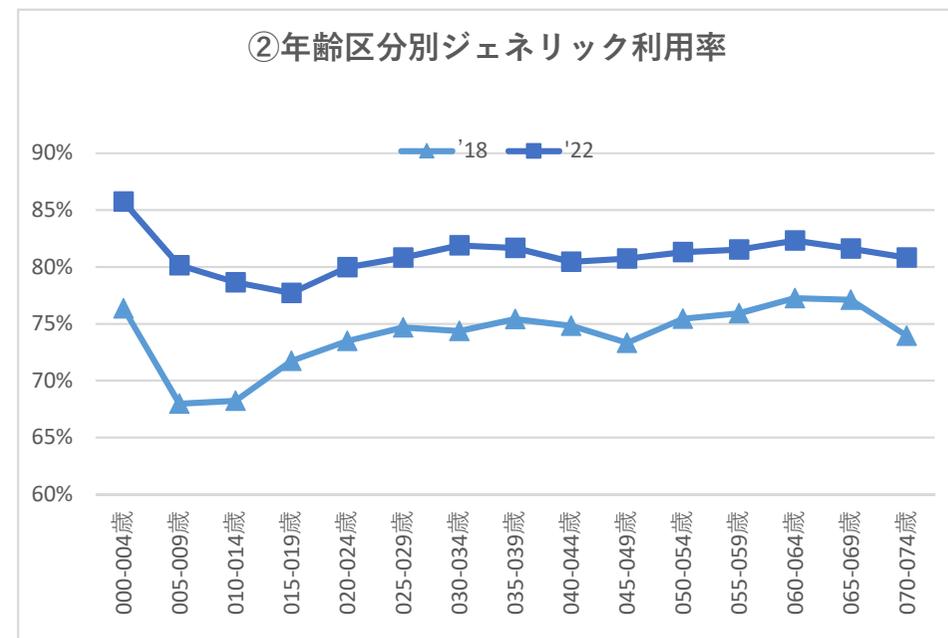
④ 女性の被保険者（本人）被扶養者（家族）別の生活習慣病受療率と患者1人当り医療費



11. 【調剤】



※ ジェネリック医薬品のない先発薬は除く



STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	イ, ウ, エ, オ	【被保険者の生活習慣病】 ・生活習慣病の医療費が増加（医療費の伸びが大きくなる50代以降の人数が増加し、さらに増える見込み） ・健診結果では肥満と高血圧が増加傾向。肥満については30代から急増。 ・重症化リスクの高い判定区分d該当者（4項目中1項目以上該当）が約16%あり。	➔	・健康意識向上と行動変容を促すための、継続的な健康づくり事業の推進 →健康行動を意識づけさせるアプリの活用 ・減量成果を重視する第4期特定保健指導への対応と実施率アップに向けた保健指導の推進 ・40歳未満を含めた保健指導の実施 ・重症化予防のための、要受診者への受診勧奨徹底 ・悪化による医療費への影響が大きい糖尿病について、より専門的なプログラムを導入	✓
2	カ	【喫煙】 ・喫煙率は年々減少しているが、近年では横ばい状態	➔	・禁煙に取り組む機会の拡大と禁煙成功への支援 ・喫煙者を禁煙につなげ、非喫煙者の健康を守るための環境づくり（敷地内禁煙）の推進	✓
3	キ	【歯科】 ・全体に占める医療費が高く、経年で増加	➔	・定期的な歯科健診の受診を促すための健診受診機会提供と受診勧奨 ・セルフケア（歯みがき習慣）の促進	
4	ク	【がん】 ・乳がんの患者数が多く、罹患率も伸びている。 ・本人の乳がん、子宮がんのがん検診受診率が低い。	➔	・受診率の低い婦人科がん検診の受診率アップに向けた受診勧奨の実施 ・早期発見、早期治療のための、要精検者への受診フォロー	
5	ケ	・【メンタル】 ・メンタル系疾患の受療率が増加しており、うつ病での傷病手当金の人数、日数も増加傾向 ・総合健康リスク100未満事業所数は低いレベルで横ばい傾向（'2022年度低下し大きな改善には至っていない）	➔	・メンタルヘルス不調を出さない職場づくり支援（職場の実態を調査、集団分析、職場環境改善） ・各個人のセルフケア促進 ・セルフケア支援（電話健康相談、面接によるカウンセリングの継続）	
6	コ	【被扶養者の生活習慣病】 ・家族の健診受診率は伸びているが、依然25%の方が4年間未受診。 ・家族の40歳以上の生活習慣病医療費が高い。 特に糖尿病、脂質異常症は医療費が高い状況。	➔	・受診を促す健診受診勧奨の実施 ・健診当日の保健指導を増やし、実施率アップを目指す ・重症化予防のため、要受診者への受診勧奨を強化	✓
7	サ	【調剤医療費】 ・ジェネリック医薬品の使用率が80%を超えてきたが、医療費は増加傾向。	➔	・ジェネリック医薬品への変更による医療費削減効果を通知し、ジェネリックへの変更を促進 ・医療用医薬品からOTC医薬品（市販薬）への切り替えによる医療費低減を目指す（花粉症等）	

基本情報

No.	特徴	対策検討時に留意すべき点
-----	----	--------------

1	<ul style="list-style-type: none"> 1. 組合員数が多く、事業所によって規模や体制、健康づくりへのスタンスが異なる。 2. 事業所が全国にあり、加入者も点在している。 3. 製造業中心で、交代勤務があり勤務形態が多様。また男性比率が高い。 4. 40歳台を中心に人員構成の山があり、今後高齢者の比率が高まることが予想される。 	➔	<ul style="list-style-type: none"> 1. 事業主懇談会、トップ懇談会を軸に、データに基づき事業所ごとの健康課題や体制面の課題を明確化し、事業主の意識を高める。 2. 各事業所の状況に合わせた保健事業を検討し、コラボヘルスを継続・強化する。
---	---	---	--

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> 1. 幅広く保健事業を実施しているが、認知度が低く、利用実績が少ない制度がある。 2. 健保が事業所ごとに行うセミナーなどの事業は、年間の実施回数に限りがあるため、全ての事業所をカバーできない。 3. 健康づくりに関するキャンペーンの取組み成果が横ばい状況。 	➔	<ul style="list-style-type: none"> 1. 制度のスクラップアンドビルドを行い、必要な制度は周知活動の強化を行う。 2. ②事業所の課題に応じた実施対象の絞り込み、長期的な実施計画の策定を行う。また、健保がプログラムやツールを提供し、事業所スタッフが実施する方法等を検討。 3. 全員一律のキャンペーンを見直し、より個人の健康状態に応じた選択ができる内容となるよう見直し検討。

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

- ・被保険者の肥満者増加を抑える
- ・被扶養者の健診受診率を上げて、その後のフォローにつなげる
- ・組合員の健康づくり事業を効果的に事業所と協働で取り組む

事業全体の目標

- ・被保険者の低リスク者率を44%以上にする
- ・被扶養者の健診受診率を65%以上にする

事業の一覧

職場環境の整備

保健指導宣伝	事業主懇談会の実施（健康評価）
疾病予防	事業主とのトップ懇談会実施（健康調査票の実施含む）

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	組合員への情報提供（機関紙、卓上資料、ホームページ、健保ガイドブック）
保健指導宣伝	医療費通知の配付
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品の利用促進

個別の事業

特定健康診査事業	被保険者の特定健診補助
特定健康診査事業	被扶養者の特定健診補助（受診率向上）
特定保健指導事業	被保険者の特定保健指導
特定保健指導事業	被扶養者の特定保健指導
保健指導宣伝	健診データ管理システムの維持管理
保健指導宣伝	ICTアプリ
疾病予防	被保険者の健診補助
疾病予防	被扶養者の健診補助
疾病予防	がん検診
疾病予防	歯科健診の実施
疾病予防	各種がん検診精密検査の補助
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
疾病予防	被保険者の保健指導等
疾病予防	被扶養者の保健指導
疾病予防	要医療者の受診勧奨（被保険者）
疾病予防	重症化予防対策
疾病予防	被扶養者の重症化対策（血糖/血圧）
疾病予防	喫煙対策
疾病予防	メンタルヘルス対策
疾病予防	電話相談
疾病予防	適正服薬
疾病予防	保健師活動等
体育奨励	健康づくり（ヘルスマチャレンジ）
その他	契約保養所
その他	けんぽスポーツの森

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
職場環境の整備																				
保健指導宣伝	1	既存	事業主懇談会の実施(健康評価)	全て	男女	18~74	被保険者	3	キ	ア	・実施報告・・・常務理事 ・評価票の作成、表彰・・・ 保健事業G ・講師の手配・・・総務G ・事業所の事例発表・・・保健事業G	・健康評価表の表彰 ・テーマに沿った講師の講話 ・事業所の事例紹介	・健康評価表の表彰 ・テーマに沿った講師の講話 ・事業所の事例紹介	・健康評価表の表彰 ・テーマに沿った講師の講話 ・事業所の事例紹介	・健康評価表の表彰 ・テーマに沿った講師の講話 ・事業所の事例紹介	・健康評価表の表彰 ・テーマに沿った講師の講話 ・事業所の事例紹介	・健康評価表の表彰 ・テーマに沿った講師の講話 ・事業所の事例紹介	健康づくりや保健事業に対するトップの理解を図り、各事業所の健康経営のための意識高揚を狙う。	【被保険者の生活習慣病】 ・生活習慣病の医療費が増加（医療費の伸びが大きくなる50代以降の人数が増加し、さらに増える見込み） ・健診結果では肥満と高血圧が増加傾向。肥満については30代から急増。 ・重症化リスクの高い判定区分d該当者（4項目中1項目以上該当）が約16%あり。	
																				580
事業主懇談会開催(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-																				
疾病予防	1	既存	事業主とのトップ懇談会実施(健康調査票の実施含む)	全て	男女	0~74	加入者全員	3	キ,シ	ア	・毎年3月に健康調査を実施 ・事業所毎に調査の結果、健診結果、医療費の統計等をまとめ、各事業所の課題が見える資料を作成。 ・健保と共同で実施している健康づくり(運動習慣、食事改善、歯磨き習慣、禁煙)の取組み結果報告 ・各事業主へ資料報告と課題共有(約130社)	・健康調査の実施・・・保健事業G ・健診結果の回収・・・健診機関、事業所の協力) ・データの集計、分析、資料作成・・・保健事業G ・事業所との懇談会実施(常務理事、事務長)	・事業所の課題や目標が見え、事業所において次につながる資料作成 ・各事業所のトップとの意見交換、課題共有 ・健康経営の宣伝活動をサポートやアドバイス	・事業所の課題や目標が見え、事業所において次につながる資料作成 ・各事業所のトップとの意見交換、課題共有 ・健康経営の宣伝活動をサポートやアドバイス	・事業所の課題や目標が見え、事業所において次につながる資料作成 ・各事業所のトップとの意見交換、課題共有 ・健康経営の宣伝活動をサポートやアドバイス	・事業所の課題や目標が見え、事業所において次につながる資料作成 ・各事業所のトップとの意見交換、課題共有 ・健康経営の宣伝活動をサポートやアドバイス	・事業所の課題や目標が見え、事業所において次につながる資料作成 ・各事業所のトップとの意見交換、課題共有 ・健康経営の宣伝活動をサポートやアドバイス	・事業所の課題や目標が見え、事業所において次につながる資料作成 ・各事業所のトップとの意見交換、課題共有 ・健康経営の宣伝活動をサポートやアドバイス	・事業主の健保事業への理解促進 ・事業所の現状と健康課題の共有 ・事業所の健康経営のサポート	該当なし
トップ懇談会の開催(100名以上)(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-																				
加入者への意識づけ																				
保健指導宣伝	5	既存	組合員への情報提供(機関紙、卓上資料、ホームページ、健保ガイドブック)	全て	男女	0~74	加入者全員	1	ス	シ	-	・広報誌発行(年4回) ・卓上資料(毎月発行) ・健保ガイドブック新年度版作成 ・ホームページ最新情報への更新	・広報誌発行(年4回) ・卓上資料(毎月発行) ・健保ガイドブック新年度版作成 ・ホームページ最新情報への更新	・広報誌発行(年4回) ・卓上資料(毎月発行) ・健保ガイドブック新年度版作成 ・ホームページ最新情報への更新	・広報誌発行(年4回) ・卓上資料(毎月発行) ・健保ガイドブック新年度版作成 ・ホームページ最新情報への更新	・広報誌発行(年4回) ・卓上資料(毎月発行) ・健保ガイドブック新年度版作成 ・ホームページ最新情報への更新	・広報誌発行(年4回) ・卓上資料(毎月発行) ・健保ガイドブック新年度版作成 ・ホームページ最新情報への更新	健保施策の理解促進と、制度の周知、健康情報の提供	該当なし	
																				17,215
ホームページ閲覧数の向上(セッション)(【実績値】16,088件 【目標値】令和6年度：16,892件 令和7年度：17,737件 令和8年度：18,623件 令和9年度：19,555件 令和10年度：20,532件 令和11年度：21,559件)-																				
保健指導宣伝	2	既存	医療費通知の配付	全て	男女	0~74	加入者全員	1	ス	シ	-	・医療費通知の発行	・医療費通知の発行	・医療費通知の発行	・医療費通知の発行	・医療費通知の発行	・医療費通知の発行	診療内容と支払額が正しいか確認してもらうと同時に、医療費負担を認識してもらい適正受診につなげる	該当なし	
																				7,640
医療費通知の発行(【実績値】6回 【目標値】令和6年度：6回 令和7年度：6回 令和8年度：6回 令和9年度：6回 令和10年度：6回 令和11年度：6回)・見やすいレイアウト ・配付趣旨の徹底																				
保健指導宣伝	2,7	既存	ジェネリック医薬品の利用促進	全て	男女	0~74	加入者全員	1	キ	ア	・医療費通知の裏面に印字し事業所経由で配付	・ジェネリック差額通知を配付(年6回) ・ジェネリックお祝いシールの配布 ・広報活動(ヘルシータイム、卓上資料) ・認知度や利用率をトップ懇談会(事業所別)、連絡会等で報告	・医療費通知の裏面に差額通知を年6回掲載 ・ジェネリック希望シールの提供(新入社員)	・医療費通知の裏面に差額通知を年6回掲載 ・ジェネリック希望シールの提供(新入社員)	・医療費通知の裏面に差額通知を年6回掲載 ・ジェネリック希望シールの提供(新入社員)	・医療費通知の裏面に差額通知を年6回掲載 ・ジェネリック希望シールの提供(新入社員)	・医療費通知の裏面に差額通知を年6回掲載 ・ジェネリック希望シールの提供(新入社員)	ジェネリック医薬品の利用率を高め、数量シェア80%以上を目指す。	【調剤医療費】 ・ジェネリック医薬品の使用率が80%を超えてきたが、医療費は増加傾向。	
																				0
差額通知の配付(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：6回 令和7年度：6回 令和8年度：6回 令和9年度：6回 令和10年度：6回 令和11年度：6回)-																				
個別の事業																				
												128,986								

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
特定健康診査事業	3	既存(法定)	被保険者の特定健診補助	全て	男女	40～74	被保険者	3	キ,ケ	・事業所で実施する定期健診に特定健診を組み込み、補助をする ・個人で実施する人間ドック、脳ドックに補助をし、健診結果を収集する	ア	・健診の利便性を高めるため、受診者の多い健診機関と契約を行う ・契約外の定期健診の補助申請を事業所に促す	事業所への健診結果提供の働きかけ	事業所への健診結果提供の働きかけ	事業所への健診結果提供の働きかけ	事業所への健診結果提供の働きかけ	事業所への健診結果提供の働きかけ	事業所への健診結果提供の働きかけ	被保険者の健康状態の把握と疾病の早期発見	【被保険者の生活習慣病】 ・生活習慣病の医療費が増加（医療費の伸びが大きくなる50代以降の人数が増加し、さらに増える見込み） ・健診結果では肥満と高血圧が増加傾向。肥満については30代から急増。 ・重症化リスクの高い判定区分d該当者（4項目中1項目以上該当）が約16%あり。
特定健診実施率(【実績値】97% 【目標値】令和6年度：97% 令和7年度：97% 令和8年度：97% 令和9年度：97% 令和10年度：97% 令和11年度：97%)												効果の測定が難しいため(アウトカムは設定されていません)								
3	既存(法定)	被扶養者の特定健診補助(受診率向上)	全て	男女	40～74	被扶養者,定年退職予定者,任意継続者	3	ア,カ,キ,ケ	・巡回健診の実施や家族に向けた健診の情報提供を行う ・パート先等で健診受診者の健診結果収集 ・健診未受診者への受診勧奨 ・継続受診の推奨 ・任意継続の切替時に保険証と一緒に健診案内配付 ・事業所で退職時任意継続になる方へ健診案内配付と説明会を実施(一部事業所)	ア,エ	・家族への健診受診勧奨や結果回収のため事業所と連携 ・健診委託業者、契約健診機関との連携 ・健保にて補助、企画、データ取込み、分析、周知活動	94,052	-	-	-	-	-	-	被扶養者の健診受診率を上げ、健康状態の把握と疾病の早期発見	【被扶養者の生活習慣病】 ・家族の健診受診率は伸びているが、依然25%の方が4年間未受診。 ・家族の40歳以上の生活習慣病医療費が高い。 特に糖尿病、脂質異常症は医療費が高い状況。
被扶養者健診受診勧奨実施事業所数(【実績値】65社 【目標値】令和6年度：70社 令和7年度：80社 令和8年度：90社 令和9年度：100社 令和10年度：110社 令和11年度：120社)												健診受診率(【実績値】62% 【目標値】令和6年度：62% 令和7年度：63% 令和8年度：63% 令和9年度：64% 令和10年度：64% 令和11年度：65%)被扶養者の健診受診率65%以上								
特定保健指導事業	4	既存(法定)	被保険者の特定保健指導	全て	男女	40～74	被保険者	3	イ,エ,オ,キ,ク,ケ,コ,サ	・対象者の抽出 ・事業所へ対象者リストを送付 ・個別に情報提供資料の配布 ・指導用媒体の提供(一部の事業所のみ) ・指導対象者の決定、面談実施(個別および集団、対面およびオンライン) ・継続指導の実施(面談、メール、手紙、電話)	ア,イ,ウ,ケ,コ,サ	・事業主および事業所担当者の理解、協力を得るための説明(トップ懇談会、連絡会) ・事業所看護職への説明と連携(産業保健職研修会)	20,784	-	-	-	-	-	保健指導の実施により、生活習慣病予備軍となる特定保健指導対象者を減少させる	【被保険者の生活習慣病】 ・生活習慣病の医療費が増加（医療費の伸びが大きくなる50代以降の人数が増加し、さらに増える見込み） ・健診結果では肥満と高血圧が増加傾向。肥満については30代から急増。 ・重症化リスクの高い判定区分d該当者（4項目中1項目以上該当）が約16%あり。
特定保健指導実施率(【実績値】64.8% 【目標値】令和6年度：65% 令和7年度：66% 令和8年度：67% 令和9年度：68% 令和10年度：69% 令和11年度：70%)												特定保健指導対象者割合(【実績値】20.5% 【目標値】令和6年度：20.5% 令和7年度：20.4% 令和8年度：20.3% 令和9年度：20.2% 令和10年度：20.1% 令和11年度：20.0%)								
4	既存(法定)	被扶養者の特定保健指導	全て	男女	40～74	被扶養者	1	イ,エ,オ,キ,ク,ケ,コ	・巡回健診や契約健診機関での健診当日または分割での指導を実施 ・健診当日に指導できない対象者は、後日階層後に抽出、案内送付後、家庭訪問やICTによる特定保健指導を実施	ウ,ケ	・巡回健診実施業者や契約健診機関と保健指導実施委託の契約を結び、早期指導ができる体制をつくる ・健診当日指導できない人のために、訪問やICTで指導を実施する業者と委託契約	18,400	-	-	-	-	-	被扶養者の特定保健指導実施率を向上させ、メタボリックシンドロームの該当者・予備群を減少させる	【被扶養者の生活習慣病】 ・家族の健診受診率は伸びているが、依然25%の方が4年間未受診。 ・家族の40歳以上の生活習慣病医療費が高い。 特に糖尿病、脂質異常症は医療費が高い状況。	
被扶養者の特定保健指導実施率(【実績値】62% 【目標値】令和6年度：63% 令和7年度：63% 令和8年度：63% 令和9年度：64% 令和10年度：64% 令和11年度：65%)												特定保健指導対象者割合(【実績値】8.5% 【目標値】令和6年度：8.5% 令和7年度：8.5% 令和8年度：8.4% 令和9年度：8.4% 令和10年度：8.3% 令和11年度：8.3%)								
保健指導宣伝	3,4	既存	健診データ管理システムの維持管理	全て	男女	0～74	加入者全員	3	イ,ウ,エ,オ,ク	・下記を実施するためのシステムの維持管理 ①適正な各種健康診断結果及び保健指導記録の取得・保管 ②事業所とのデータ共有 ③保健指導用帳票の作成 ④事業所での保健指導用アプリの提供 ⑤国への報告データ作成 ⑥個別データの抽出	イ,カ	・健診データ等の収集活動 ・効果的な保健指導を行うためのツール作成	4,903	-	-	-	-	-	適正なデータ収集とシステムの維持管理	該当なし

予 算 科 目	注1) 事業 分類	新 規 既 存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラ クチャー 分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連
				対象 事業所	性別	年齢	対象者						実施計画						
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
アウトプット指標												アウトカム指標							
検診データのチェック(【実績値】12回 【目標値】令和6年度：12回 令和7年度：12回 令和8年度：12回 令和9年度：12回 令和10年度：12回 令和11年度：12回)-												数値目標なし (アウトカムは設定されていません)							
2,5	既 存	ICTアプリ	全て	男女	18 ～ 74	被保険 者	3	エ,ケ	・健康管理アプリWellGoの使用登録 ・希望事業所へ認証コードの発送 ・ユーザー情報管理 ・アプリ上で各種イベントの実施	ア	-	7,764	-	-	-	-	-	登録率の増加	【被保険者の生活習慣病】 ・生活習慣病の医療費が増加（医療費の伸びが大きくなる50代以降の人数が増加し、さらに増える見込み） ・健診結果では肥満と高血圧が増加傾向。肥満については30代から急増。 ・重症化リスクの高い判定区分d該当者（4項目中1項目以上該当）が約16%あり。
登録者率(【実績値】30% 【目標値】令和6年度：40% 令和7年度：50% 令和8年度：60% 令和9年度：70% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)-												アプリの取り組み内容と健康調査結果が必ずしもつながると言えないため (アウトカムは設定されていません)							
疾 病 予 防	3	既 存	被保険者の健 診補助	全て	男女	18 ～ 74	被保険 者	3	キ,ケ	ア,イ	-	218,060	-	-	-	-	-	・被保険者の健康状態の把握と疾病の早期発見	【被保険者の生活習慣病】 ・生活習慣病の医療費が増加（医療費の伸びが大きくなる50代以降の人数が増加し、さらに増える見込み） ・健診結果では肥満と高血圧が増加傾向。肥満については30代から急増。 ・重症化リスクの高い判定区分d該当者（4項目中1項目以上該当）が約16%あり。
健診受診率(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：97% 令和7年度：97% 令和8年度：97% 令和9年度：97% 令和10年度：97% 令和11年度：97%)-												数値目標なし (アウトカムは設定されていません)							
3	既 存	被扶養者の健 診補助	全て	男女	35 ～ 74	被扶養 者,定年 退職予 定者,任 意継続 者	1	ア,カ,キ,ケ	ア,エ,カ	-	-	150,113	-	-	-	-	-	被扶養者の健診受診率を上げ、健康状態の把握と疾病の早期発見	【被扶養者の生活習慣病】 ・家族の健診受診率は伸びているが、依然25%の方が4年間未受診。 ・家族の40歳以上の生活習慣病医療費が高い。 特に糖尿病、脂質異常症は医療費が高い状況。
被扶養者健診受診勧奨実施事業所数(【実績値】65社 【目標値】令和6年度：70社 令和7年度：80社 令和8年度：90社 令和9年度：100社 令和10年度：110社 令和11年度：120社)-												健診受診率(【実績値】62% 【目標値】令和6年度：62% 令和7年度：63% 令和8年度：64% 令和9年度：65% 令和10年度：65% 令和11年度：65%)-							
1,2,3	既 存	がん検診	全て	男女	20 ～ 74	加入者 全員	3	ウ,キ,ケ,サ, シ	ア,カ	-	-	102,703	-	-	-	-	-	がんの早期発見・早期治療のため、検診受診率を上げる	【がん】 ・乳がんの患者数が多く、罹患率も伸びている。 ・本人の乳がん、子宮がんのがん検診受診率が低い。
被保険者乳がん検診受診率(【実績値】55% 【目標値】令和6年度：56% 令和7年度：57% 令和8年度：58% 令和9年度：59% 令和10年度：60% 令和11年度：60%)-												アウトプットの目標と同様 (アウトカムは設定されていません)							
被保険者子宮がん検診受診率(【実績値】40% 【目標値】令和6年度：42% 令和7年度：44% 令和8年度：46% 令和9年度：48% 令和10年度：50% 令和11年度：50%)-																			
												39,658							

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
3	既存	歯科健診の実施	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ウ,キ,ケ	・年度内に1度、診療所もしくは事業所における集団で実施する歯科健診に補助を行う。	ア,カ	-	・診療所歯科健診補助実施 ・事業所集団歯科健診補助の実施	・診療所歯科健診補助実施 ・事業所集団歯科健診補助の実施	・診療所歯科健診補助実施 ・事業所集団歯科健診補助の実施	・診療所歯科健診補助実施 ・事業所集団歯科健診補助の実施	・診療所歯科健診補助実施 ・事業所集団歯科健診補助の実施	・診療所歯科健診補助実施 ・事業所集団歯科健診補助の実施	歯のプロケアを年1回以上実施し歯の健康維持増進	【歯科】 ・全体に占める医療費が高く、経年で増加	
歯科健診受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：43% 令和7年度：45% 令和8年度：47% 令和9年度：49% 令和10年度：51% 令和11年度：53%)年1回以上の歯科医で健診や歯の清掃を受診している方を増やす												アウトプット目標と同様(アウトカムは設定されていません)								
3,4	既存	各種がん検診精密検査の補助	全て	男女	20～74	加入者全員	1	イ	・がん検診にて要精検、要治療判定者へ検査費用の一部を補助することで、受診促進と受診確認を行う。	シ	・制度の企画、補助、運営(健保) ・制度の周知、取りまとめ(事業所)	・がん検診にて要精密検査判定になった方が精密検査を速やかに受診する為の検査費用の一部補助 ・機関誌、卓上資料での広報 ・事業所担当者へ周知とアプローチ	・がん検診にて要精密検査判定になった方が精密検査を速やかに受診する為の検査費用の一部補助 ・機関誌、卓上資料での広報 ・事業所担当者へ周知とアプローチ	・がん検診にて要精密検査判定になった方が精密検査を速やかに受診する為の検査費用の一部補助 ・機関誌、卓上資料での広報 ・事業所担当者へ周知とアプローチ	・がん検診にて要精密検査判定になった方が精密検査を速やかに受診する為の検査費用の一部補助 ・機関誌、卓上資料での広報 ・事業所担当者へ周知とアプローチ	・がん検診にて要精密検査判定になった方が精密検査を速やかに受診する為の検査費用の一部補助 ・機関誌、卓上資料での広報 ・事業所担当者へ周知とアプローチ	・がん検診にて要精密検査判定になった方が精密検査を速やかに受診する為の検査費用の一部補助 ・機関誌、卓上資料での広報 ・事業所担当者へ周知とアプローチ	がんの早期発見・早期治療	【がん】 ・乳がんの患者数が多く、罹患率も伸びている。 ・本人の乳がん、子宮がんのがん検診受診率が低い。	
要精検者の精密検査受診率(【実績値】 18% 【目標値】 令和6年度：19% 令和7年度：20% 令和8年度：21% 令和9年度：22% 令和10年度：23% 令和11年度：24%)-												数値目標の設定が難しいため(アウトカムは設定されていません)								
8	既存	インフルエンザ予防接種補助	全て	男女	1～15	被扶養者	1	ス	・1歳～15歳の被扶養者の接種に2,000円を上限に補助(2回接種のうち1回分のみ) ・対象者へインフルエンザ接種補助券を配付	ク	・補助事業の企画(健保連) ・補助事業の取りまとめ、支払い手続き(健保) ・補助券の配付と償還払いの取りまとめ(事業所)	・補助券の配付し、補助する。 ・機関誌、ホームページ等での周知	・補助券の配付し、補助する。 ・機関誌、ホームページ等での周知	・補助券の配付し、補助する。 ・機関誌、ホームページ等での周知	・補助券の配付し、補助する。 ・機関誌、ホームページ等での周知	・補助券の配付し、補助する。 ・機関誌、ホームページ等での周知	・補助券の配付し、補助する。 ・機関誌、ホームページ等での周知	インフルエンザ発症時の軽症化	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
予防接種受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50% 令和7年度：51% 令和8年度：52% 令和9年度：53% 令和10年度：54% 令和11年度：55%)-												アウトプット目標と同様(アウトカムは設定されていません)								
4	既存	被保険者の保健指導等	全て	男女	18～39	被保険者	1	イ,エ,オ,キ,ク,ケ,サ	・健保組合で対象者を抽出し、事業所へ対象者リストを送付 ・個別に情報提供資料の配付(健保作成) ・指導用媒体の提供(一部の事業所のみ) ・保健指導実施者、実施日の調整 ・事業所で指導対象者の決定 ・初回面談実施(個別および集団、対面およびオンライン) ・最終評価の実施(面談、メール、手紙、電話)	ア,イ,ウ,ケ,コ,サ	・事業主および事業所担当者の理解、協力を得るための説明(トップ懇談会、連絡会) ・事業所保健職への説明と連携、スキルアップのための勉強会(産業保健職研修会) ・効果的な保健指導のため、外部委託機関を一部導入	・月単位で対象者を抽出し、事業所へリストと情報提供資料を送付 ・事業所および対象者の希望、過去の実績も踏まえ、実施方法を決定	・月単位で対象者を抽出し、事業所へリストと情報提供資料を送付 ・事業所および対象者の希望、過去の実績も踏まえ、実施方法を決定	・月単位で対象者を抽出し、事業所へリストと情報提供資料を送付 ・事業所および対象者の希望、過去の実績も踏まえ、実施方法を決定	・月単位で対象者を抽出し、事業所へリストと情報提供資料を送付 ・事業所および対象者の希望、過去の実績も踏まえ、実施方法を決定	・月単位で対象者を抽出し、事業所へリストと情報提供資料を送付 ・事業所および対象者の希望、過去の実績も踏まえ、実施方法を決定	・月単位で対象者を抽出し、事業所へリストと情報提供資料を送付 ・事業所および対象者の希望、過去の実績も踏まえ、実施方法を決定	保健指導の実施により、生活習慣病予備群となる保健指導対象者(特定保健指導における階層化による積極的支援・動機づけ支援該当者)を減少させる	【被保険者の生活習慣病】 ・生活習慣病の医療費が増加(医療費の伸びが大きくなる50代以降の人数が増加し、さらに増える見込み) ・健診結果では肥満と高血圧が増加傾向。肥満については30代から急増。 ・重症化リスクの高い判定区分d該当者(4項目中1項目以上該当)が約16%あり。	
保健指導を実施する事業所の割合(【実績値】 79% 【目標値】 令和6年度：80% 令和7年度：82% 令和8年度：84% 令和9年度：86% 令和10年度：88% 令和11年度：90%)保健指導を実施する事業所(隔年実施等も含む)の割合												保健指導対象者の割合(【実績値】 15% 【目標値】 令和6年度：14.8% 令和7年度：14.6% 令和8年度：14.4% 令和9年度：14.2% 令和10年度：14.0% 令和11年度：13.8%)-								
4	既存(法定)	被扶養者の保健指導	全て	女性	35～39	被扶養者	1	イ,エ,オ,キ,ク,ケ,コ	・巡回健診や契約健診機関での健診当日または分割での指導を実施 ・健診当日に指導できない対象者は、後日階層後に抽出、案内送付後、家庭訪問やICTによる特定保健指導を実施	エ,カ	・巡回健診実施業者や契約健診機関と保健指導実施委託の契約を結び、早期指導ができる体制をつくる ・健診当日指導できない人のために、訪問やICTで指導を実施する業者と委託契約	・第4期特定保健指導開始に合わせ、指導方法の見直し ・巡回健診、契約健診機関で特定保健指導を受けない人を抽出、業者に委託	・巡回健診、契約健診機関で特定保健指導を受けない人を抽出、業者に委託	・巡回健診、契約健診機関で特定保健指導を受けない人を抽出、業者に委託	・巡回健診、契約健診機関で特定保健指導を受けない人を抽出、業者に委託	・巡回健診、契約健診機関で特定保健指導を受けない人を抽出、業者に委託	・巡回健診、契約健診機関で特定保健指導を受けない人を抽出、業者に委託	被扶養者(35～39歳)の特定保健指導実施の該当者・予備群を減少させる	【被扶養者の生活習慣病】 ・家族の健診受診率は伸びているが、依然25%の方が4年間未受診。 ・家族の40歳以上の生活習慣病医療費が高い。 特に糖尿病、脂質異常症は医療費が高い状況。	
被扶養者の特定保健指導実施率(【実績値】 62% 【目標値】 令和6年度：63% 令和7年度：63% 令和8年度：63% 令和9年度：64% 令和10年度：64% 令和11年度：65%)-												特定保健指導対象者割合(【実績値】 8.5% 【目標値】 令和6年度：8.5% 令和7年度：8.4% 令和8年度：8.4% 令和9年度：8.3% 令和10年度：8.3% 令和11年度：8.3%)-								
3,4	新規	要医療者の受診動奨(被保険者)	全て	男女	18～74	被保険者	3	イ,オ,キ,ク	健康診断結果から受診動奨対象者のリストを作成し、希望事業所へ提供。事業所で受診動奨を実施。 ・受診状況をレセプトで確認 ・事業所の医療職と連携し、未受診者の確実な受診動奨を実施 ・特に数値が高いハイリスク者に対し、受診確認、受診動奨を徹底	ア,イ,ケ	・事業所担当者、看護職、産業医への説明と連携	・要受診者リストの希望確認、コラボヘルスによる受診動奨の確認 ・受診動奨リストの作成と受診確認の実施 ・ハイリスク者の受診フォロー	・要受診者リストの希望確認、コラボヘルスによる受診動奨の確認 ・受診動奨リストの作成と受診確認の実施 ・ハイリスク者の受診フォロー	・要受診者リストの希望確認、コラボヘルスによる受診動奨の確認 ・受診動奨リストの作成と受診確認の実施 ・ハイリスク者の受診フォロー	・要受診者リストの希望確認、コラボヘルスによる受診動奨の確認 ・受診動奨リストの作成と受診確認の実施 ・ハイリスク者の受診フォロー	・要受診者リストの希望確認、コラボヘルスによる受診動奨の確認 ・受診動奨リストの作成と受診確認の実施 ・ハイリスク者の受診フォロー	・要受診者リストの希望確認、コラボヘルスによる受診動奨の確認 ・受診動奨リストの作成と受診確認の実施 ・ハイリスク者の受診フォロー	・要受診者リストの希望確認、コラボヘルスによる受診動奨の確認 ・受診動奨リストの作成と受診確認の実施 ・ハイリスク者の受診フォロー	健康診断後の受診動奨徹底により、ハイリスク者の放置をなくし、生活習慣病の重症化を防ぐ	【被保険者の生活習慣病】 ・生活習慣病の医療費が増加(医療費の伸びが大きくなる50代以降の人数が増加し、さらに増える見込み) ・健診結果では肥満と高血圧が増加傾向。肥満については30代から急増。 ・重症化リスクの高い判定区分d該当者(4項目中1項目以上該当)が約16%あり。

予 算 科 目	注1) 事業 分類	新 規 既 存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラ クチャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象 事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		

アウトプット指標 アウトカム指標

ハイリスク者へのフォロー実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-												フォロー対象者の医療機関受診率(【実績値】 68.5% 【目標値】 令和6年度：70% 令和7年度：72% 令和8年度：74% 令和9年度：76% 令和10年度：78% 令和11年度：80%)-							
4	新規		重症化予防対策	全て	男女	18～74	被保険者	1	ケ	ケ	ケ	0	-	-	-	-	-	生活習慣病の重症化を予防し、新規に高額医療を必要とする者を増やさない	【被保険者の生活習慣病】 ・生活習慣病の医療費が増加（医療費の伸びが大きくなる50代以降の人数が増加し、さらに増える見込み） ・健診結果では肥満と高血圧が増加傾向。肥満については30代から急増。 ・重症化リスクの高い判定区分d該当者（4項目中1項目以上該当）が約16%あり。
プログラム参加者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：30人 令和7年度：30人 令和8年度：30人 令和9年度：30人 令和10年度：30人 令和11年度：30人)-												プログラム参加者のうち終了後の血糖値(HbA1c)が0.5以上改善した者の割合(【実績値】 50% 【目標値】 令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)-							
4	既存		被扶養者の重症化対策（血糖/血圧）	全て	男女	40～74	被扶養者	1	イ,ク	ウ,ケ,シ	電話による受診勧奨を行う業者と契約	252	-	-	-	-	-	適切な病院受診により糖代謝と血圧の悪化予防と早期治療の推進を行う。	【被扶養者の生活習慣病】 ・家族の健診受診率は伸びているが、依然25%の方が4年間未受診。 ・家族の40歳以上の生活習慣病医療費が高い。 特に糖尿病、脂質異常症は医療費が高い状況。
受診勧奨フォロー率(【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-												受診勧奨者の医療機関受診率(【実績値】 68.7% 【目標値】 令和6年度：69% 令和7年度：69% 令和8年度：69.5% 令和9年度：70% 令和10年度：70% 令和11年度：70%)-							
5	既存		喫煙対策	全て	男女	20～74	被保険者	1	エ,ケ	ア,イ	【健保】 ・事業主および事業所担当者の理解・協力を得るための説明（トップ懇談会、キャンペーン説明会） ・喫煙者リストの作成 ・脱タバコ作戦案内の作成、サポート実施 ・オンライン禁煙の一部費用補助 ・健康管理アプリを用いた禁煙イベントの開催 【事業所】 ・脱タバコ作戦・オンライン禁煙・禁煙イベント参加者の勧奨	3,824	-	-	-	-	-	健康リスクの1つである喫煙者を減らす	【喫煙】 ・喫煙率は年々減少しているが、近年では横ばい状態
脱タバコ作戦、オンライン禁煙、禁煙イベントへの参加率(【実績値】 6% 【目標値】 令和6年度：6% 令和7年度：5.5% 令和8年度：5.5% 令和9年度：5.5% 令和10年度：5% 令和11年度：5%)参加率=各禁煙事業への参加人数（合計）/喫煙者数												喫煙率(【実績値】 30% 【目標値】 令和6年度：27.5% 令和7年度：25% 令和8年度：24.5% 令和9年度：24% 令和10年度：23.5% 令和11年度：23%)2025年までは健保2025VISION数値。以降2029年までは均等割り。							
0												-							

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
1,2,5,6	既存	メンタルヘルス対策	全て	男女	18～74	被保険者	1	イ,ク	事業所全体への支援 ・組織全体の課題提供の確実な実施 (健康調査に基づく職場課題の明確化) メンタルヘルス対策強化事業所への個別支援 ・管理監督者向けラインケア教育 ・監督者・一般向けセルフケア教育 ・担当者への個別対応支援(難事例への助言) ・職場環境改善に向けた取組支援	ア,イ,ケ,サ-		事業所全体への支援 ・組織全体の課題提供の確実な実施 (健康調査に基づく職場課題の明確化) メンタルヘルス対策強化事業所への個別支援 ・各種教育実施 ・職場環境改善に向けた取組支援	事業所全体への支援 ・組織全体の課題提供の確実な実施 (健康調査に基づく職場課題の明確化) メンタルヘルス対策強化事業所への個別支援 ・各種教育実施 ・職場環境改善に向けた取組支援	事業所全体への支援 ・組織全体の課題提供の確実な実施 (健康調査に基づく職場課題の明確化) メンタルヘルス対策強化事業所への個別支援 ・各種教育実施 ・職場環境改善に向けた取組支援	事業所全体への支援 ・組織全体の課題提供の確実な実施 (健康調査に基づく職場課題の明確化) メンタルヘルス対策強化事業所への個別支援 ・各種教育実施 ・職場環境改善に向けた取組支援	事業所全体への支援 ・組織全体の課題提供の確実な実施 (健康調査に基づく職場課題の明確化) メンタルヘルス対策強化事業所への個別支援 ・各種教育実施 ・職場環境改善に向けた取組支援	事業所全体への支援 ・組織全体の課題提供の確実な実施 (健康調査に基づく職場課題の明確化) メンタルヘルス対策強化事業所への個別支援 ・各種教育実施 ・職場環境改善に向けた取組支援	メンタル不調者の予防・重症化予防のための職場環境改善	・【メンタル】 ・メンタル系疾患の受療率が増加しており、うつ病での傷病手当金の人数、日数も増加傾向 ・総合健康リスク100未満事業所数は低いレベルで横ばい傾向('2022年度低下し大きな改善には至っていない)	
職場詳細分析・結果フィードバック事業所数(【実績値】127社 【目標値】令和6年度:127社 令和7年度:127社 令和8年度:127社 令和9年度:127社 令和10年度:127社 令和11年度:127社)被保険者100名以上の事業所に対し結果報告												総合健康リスク100未満の事業所数(【実績値】73社 【目標値】令和6年度:82社 令和7年度:87社 令和8年度:93社 令和9年度:98社 令和10年度:104社 令和11年度:110社)総合健康リスク100未満の事業所数110社を目標とする(事業所の60%)								
6	既存	電話相談	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	医師・専門スタッフ(外部委託)による年中無休・24時間電話相談 ・健康電話相談(育児相談を含む) ・メンタルヘルス電話相談 ・メンタルヘルスカウンセリング(面談)	シ	・ティーベック㈱へ電話相談業務委託 且つ、PR用リーフレットの提供を受け広報 ・機関紙、連絡会等の各種チャンネルを通して利用促進を図る	・潜在的相談希望者を電話相談利用に結びつけるためのPR リーフレット配布配付 卓上資料への掲載 HP・機関紙への掲載 新規加入(出産等)時に案内配付	・潜在的相談希望者を電話相談利用に結びつけるためのPR リーフレット配布配付 卓上資料への掲載 HP・機関紙への掲載 新規加入(出産等)時に案内配付	・潜在的相談希望者を電話相談利用に結びつけるためのPR リーフレット配布配付 卓上資料への掲載 HP・機関紙への掲載 新規加入(出産等)時に案内配付	・潜在的相談希望者を電話相談利用に結びつけるためのPR リーフレット配布配付 卓上資料への掲載 HP・機関紙への掲載 新規加入(出産等)時に案内配付	・潜在的相談希望者を電話相談利用に結びつけるためのPR リーフレット配布配付 卓上資料への掲載 HP・機関紙への掲載 新規加入(出産等)時に案内配付	・潜在的相談希望者を電話相談利用に結びつけるためのPR リーフレット配布配付 卓上資料への掲載 HP・機関紙への掲載 新規加入(出産等)時に案内配付	セーフティネットの提供 健康に関する不安の早期解消 応急・健康情報・医療機関情報提供 適正受診勧奨 健保に求められる健康相談対応補充	該当なし	
電話相談利用率(【実績値】3.5% 【目標値】令和6年度:3.5% 令和7年度:3.6% 令和8年度:3.7% 令和9年度:3.8% 令和10年度:3.9% 令和11年度:3.9%)利用率=相談件数/契約被保険者×100												医療費抑制(【実績値】15,000千円 【目標値】令和6年度:15,160千円 令和7年度:15,600千円 令和8年度:16,030千円 令和9年度:16,460千円 令和10年度:16,890千円 令和11年度:16,890千円)-								
5	新規	適正服薬	全て	男女	65～74	加入者全員	1	ス	・オンライン上で薬剤師による医薬品相談およびOTC医薬品の購入サービスを提供 ・健保補助を投入して処方薬からスイッチOTC医薬品への切替を促進	ウ	・サービスの運営をホワイトヘルスケア㈱へ委託 ・対象者への案内周知、事業の効果的な管理運営を健保が担う	・利用促進に向けたプロモーションの実施 DM、メールによるPR 医薬品購入費用補助 ・レセプト分析に基づいた個別勧奨の実施	・利用促進に向けたプロモーションの実施 DM、メールによるPR 医薬品購入費用補助 ・レセプト分析に基づいた個別勧奨の実施	・利用促進に向けたプロモーションの実施 DM、メールによるPR 医薬品購入費用補助 ・レセプト分析に基づいた個別勧奨の実施	・利用促進に向けたプロモーションの実施 DM、メールによるPR 医薬品購入費用補助 ・レセプト分析に基づいた個別勧奨の実施	・利用促進に向けたプロモーションの実施 DM、メールによるPR 医薬品購入費用補助 ・レセプト分析に基づいた個別勧奨の実施	・利用促進に向けたプロモーションの実施 DM、メールによるPR 医薬品購入費用補助 ・レセプト分析に基づいた個別勧奨の実施	セルフメディケーションの推進	【調剤医療費】 ・ジェネリック医薬品の使用率が80%を超えてきたが、医療費は増加傾向。	
サービス登録者数(【実績値】- 【目標値】令和6年度:483人 令和7年度:507人 令和8年度:533人 令和9年度:559人 令和10年度:587人 令和11年度:647人)-												給付費低減(【実績値】1,680千円 【目標値】令和6年度:1,764千円 令和7年度:1,852千円 令和8年度:1,945千円 令和9年度:2,042千円 令和10年度:2,144千円 令和11年度:2,251千円)-								
1	既存	保健師活動等	全て	男女	18～74	その他	1	ス	・事業所保健職間の情報交換会の開催 ・テーマを決め、専門職のための研修会を開催	イ,ケ,サ	・加入事業所における保健職名簿の作成	・第4期特定保健指導の説明、実施についての情報交換	・研修会および情報交換会を実施	・研修会および情報交換会を実施	・研修会および情報交換会を実施	・研修会および情報交換会を実施	・研修会および情報交換会を実施	健保と事業所保健職との連携、事業所保健職同士の情報交換、効果的な保健指導等保健事業実施のためのスキルアップの機会とする	該当なし	
研修会実施回数(【実績値】1回 【目標値】令和6年度:1回 令和7年度:1回 令和8年度:1回 令和9年度:1回 令和10年度:1回 令和11年度:1回)-												アウトプット目標と同様(アウトカムは設定されていません)								
体育奨励	2,5	既存	健康づくり(ヘルスマチャレンジ)	全て	男女	18～74	被保険者	3	ア,エ,ケ	ア,イ	・9～11月のヘルスマチャレンジ(運動・食事・歯のケアの取り組み)の企画、実施 ・キャンペーン説明会開催 ・良い取組み事例の紹介 ・チャレンジカードの配付、目標設定、取組み ・達成者へインセンティブ(達成記念品配付)	【健保】 ・ヘルスマチャレンジの企画・運用 ・ヘルスマチャレンジ説明会を実施し、担当者への周知 ・「健康評価」に反映 【事業所】 ・チャレンジ取組みの社内展開、運用、結果集計 ・会社方針または会社目標として位置づけ	・継続実施 ・事業所の取り組み紹介 ・次年度ヘルスマチャレンジの取組み方法の見直し ・チャレンジカードの見直し	・新ヘルスマチャレンジの実施	・新ヘルスマチャレンジの実施	・新ヘルスマチャレンジの実施	・新ヘルスマチャレンジの実施	・新ヘルスマチャレンジの実施	ヘルスマチャレンジの実施により運動習慣の定着を図る	【被保険者の生活習慣病】 ・生活習慣病の医療費が増加(医療費の伸びが大きくなる50代以降の人数が増加し、さらに増える見込み) ・健診結果では肥満と高血圧が増加傾向。肥満については30代から急増。 ・重症化リスクの高い判定区分d該当者(4項目中1項目以上該当)が約16%あり。
キャンペーン(運動)参加率(【実績値】66.2% 【目標値】令和6年度:68.2% 令和7年度:70.2% 令和8年度:72.2% 令和9年度:74.2% 令和10年度:76.2% 令和11年度:78.2%)-												運動頻度の割合(【実績値】52% 【目標値】令和6年度:53% 令和7年度:54% 令和8年度:55% 令和9年度:56% 令和10年度:57% 令和11年度:58%)週1回以上の運動実施								
その他	5,8	既存	契約保養所	全て	男女	0(上限なし)	加入者全員	1	ス	シ	・広報誌のお便りの情報収集 ・ホームページ掲載内容の充実 ・トピックスへのリアル情報の展開 ・広報誌での保養所紹介 ・新しい施設との契約	・広報誌のお便りの情報収集 ・ホームページ掲載内容の充実 ・トピックスへのリアル情報の展開 ・広報誌での保養所紹介 ・新しい施設との契約	・各施設契約内容確認と契約書の更新 ・ホームページ掲載内容の更新 ・トピックスにて最新情報の展開 ・新しい施設との契約	・各施設契約内容確認と契約書の更新 ・ホームページ掲載内容の更新 ・トピックスにて最新情報の展開 ・新しい施設との契約	・各施設契約内容確認と契約書の更新 ・ホームページ掲載内容の更新 ・トピックスにて最新情報の展開 ・新しい施設との契約	・各施設契約内容確認と契約書の更新 ・ホームページ掲載内容の更新 ・トピックスにて最新情報の展開 ・新しい施設との契約	・各施設契約内容確認と契約書の更新 ・ホームページ掲載内容の更新 ・トピックスにて最新情報の展開 ・新しい施設との契約	心身のリフレッシュによる組合員の健康増進の為、組合員の要望に合った施設との契約	該当なし	

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
施設契約数(【実績値】174件 【目標値】令和6年度：176件 令和7年度：178件 令和8年度：180件 令和9年度：182件 令和10年度：184件 令和11年度：186件)-												数値目標の設定が難しいため(アウトカムは設定されていません)								
5	既存	けんぽスポーツの森	全て	男女	0 ～ (上限なし)	加入者 全員	1	ス	-	シ	・施設の老朽化による環境整備と運営の効率化 ・組合員への利用率向上に向けた広報活動 ・運営の安定化	16,093	-	-	-	-	-	組合員の健康増進	該当なし	
組合員利用率(【実績値】17.4% 【目標値】令和6年度：17.7% 令和7年度：18.0% 令和8年度：18.3% 令和9年度：18.6% 令和10年度：18.9% 令和11年度：19.2%)-												数値での目標設定が難しいため(アウトカムは設定されていません)								

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施

ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築

ケ. 保険者内の専門職の活用(共同設置保健師等を含む) コ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) サ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) シ. その他